

ナデシコプラン2025

(令和7年度名東区区政運営方針)

【事業シート集】

令和7年5月

名古屋市名東区役所

I はじめに

I 中長期計画「第2期名東区将来ビジョン（ナデシコビジョン2028）」

第2期名東区将来ビジョンは、区を取り巻く社会状況の変化を踏まえ、めざすべき区の姿を明らかにし、その実現に向けた中長期の取り組みを体系化するものです。名古屋市総合計画と整合性を図りながら、区における独自施策や区で展開する市の各局施策のうち区の特色を生かした施策をまとめ、区における個別計画として策定します。

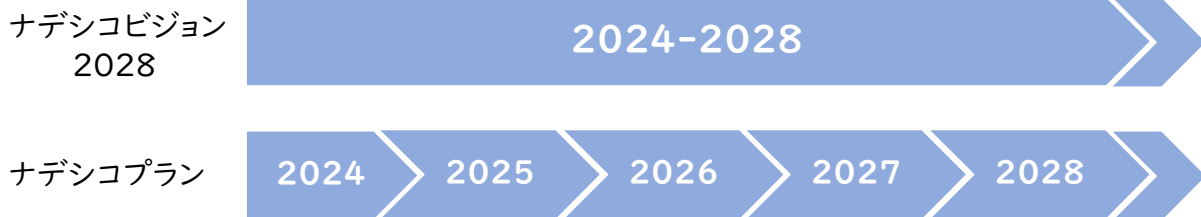
また、名東区の花であるナデシコを、区への愛着を示すシンボルとして普及する意味を込め、「ナデシコビジョン2028」という愛称で呼びます。

計画期間は、令和6年度（2024年度）から令和10年度（2028年度）までの5年間とします。

2 名東区区政運営方針（ナデシコプラン）の位置づけ

名東区区政運営方針（ナデシコプラン）は、中長期の取り組みを体系化したナデシコビジョン2028を踏まえ、各年度の目標や重点的な取り組みを明確にしたものです。

また、ナデシコビジョン2028に掲げた施策の成果指標について、ナデシコプランで進捗管理を行います。



3 基本理念

「つながるまち、ひろがるまち名東」

少子高齢化を背景に65歳以上の単身世帯が増加しているとともに、核家族化などにより負担や悩みを抱える子育て世帯が多くなっています。また、自然災害は気候変動により激甚化し、防災・減災の取り組みが益々重要になっています。地域活動については、コロナ禍で落ち込んだものの、夏祭りや運動会など各種行事が再開され、にぎわいを取り戻してきています。こうした多様化・複雑化した問題を、行政だけで対処することは難しくなっており、区民、企業、各種団体及び行政の協働・連携によるまちづくりが、これまで以上に求められています。そこで、ナデシコビジョン2028においては、人と人との絆、地域の絆を重視した第1期名東区将来ビジョンの基本理念である「つながるまち、ひろがるまち名東」を引き続き基本理念とします。

Ⅱ 概要

Ⅰ ナデシコビジョン2028に掲げる成果指標の進捗状況について

ナデシコビジョン2028の成果指標について、令和10年の目標値の達成に向けて、各年度の実績値がどのような進捗状況にあるかを、☆の数で示しています。

成果指標	進捗状況	基 準
	☆☆☆☆	各年度の基準値を達成しているもの (各年度の実績値－計画策定時の値)／各年度の基準値 $\geq$ 100%
	☆☆☆	各年度の基準値の50%以上100%未満のもの $100\% > (\text{各年度の実績値} - \text{計画策定時の値}) / \text{各年度の基準値} \geq 50\%$
	☆☆	計画策定時の値以上であり、各年度の基準値の50%未満のもの $50\% > (\text{各年度の実績値} - \text{計画策定時の値}) / \text{各年度の基準値} \geq 0\%$
	☆	計画策定時の値を下回っているもの $0\% > (\text{各年度の実績値} - \text{計画策定時の値}) / \text{各年度の基準値}$

(注) 原則として、計画策定時の値と令和10年度の目標値との直線補間により、各年度の基準値(計画策定時との差分)を算出し、上表のとおり判定しています。

※ 各年度の基準値＝(令和10年度の目標値－計画策定時の値) × (経過年数／5)

＜ナデシコビジョン2028に掲載している21指標の進捗状況＞

将来像等	進捗状況別指標数				
	☆☆☆☆	☆☆☆	☆☆	☆	合計
将来像1 未来につながる 子育てしやすい、子どもが幸せを描けるまち	1	1	0	1	3
将来像2 ひとの輪がひろがる 助けあいのまち	2	0	1	3	6
将来像3 地域がつながる 安心・安全なまち	0	1	1	1	3
将来像4 次世代につながる 自然豊かな快適な環境のまち	1	0	0	2	3
将来像5 笑顔がひろがる 魅力と交流のまち	2	1	0	0	3
区役所づくり 親しまれ信頼される 区役所をめざして	2	1	0	0	3
合 計	8	4	2	7	21

2 ナデシコプランに掲載している事業の目標達成状況について

目標に対する達成状況については、事業担当課の自己評価を踏まえ、区長以下区役所全体で次のA～Dで評価を行い決定しました。

ただし、複数の目標を掲げた取り組みについては総合的に判断し、具体的な目標を設定していない取り組みについては事業等の実施状況により判断しました。

実施事業	目標達成状況	基 準
	A	目標値の95%以上、または期間内に実施
	B	目標値の80%以上、または3か月以内に実施
	C	目標値の50%以上、または4か月以上遅れて年度内実施
	D	目標値の50%未満、または未実施

<ナデシコプランに掲載している107事業の令和6年度目標達成状況>

将来像等	目標達成状況別事業数				
	A	B	C	D	合計
将来像1 未来につながる 子育てしやすい、子どもが幸せを描けるまち	15	4	3	2	24
将来像2 ひとの輪がひろがる 助けあいのまち	21	2	1	3	27
将来像3 地域がつながる 安心・安全なまち	16	1	1	0	18
将来像4 次世代につながる 自然豊かな快適な環境のまち	14	0	2	0	16
将来像5 笑顔がひろがる 魅力と交流のまち	11	1	0	2	14
区役所づくり 親しまれ信頼される 区役所をめざして	5	1	1	1	8
合 計	82	9	8	8	107

Ⅲ 令和7年度区政運営方針事業シート

※「【新】」は令和7年度から開始する新規事業

将来像1 未来につながる 子育てしやすい、子どもが幸せを描けるまち 9

(1)地域で安心して妊娠・出産・子育てができる環境づくりを進めます 10

- 1 子育て支援情報の充実 10
- 2 出張保育相談窓口の充実
- 3 子育て総合相談窓口 11
- 4 子育てふれあい広場の開催
- 5 子育てミニ広場の開催 12
- 6 子育てサロンの支援
- 7 絵本でつながる親子の時間 13
- 8 名東区立つながる仮想動物園

(2)子どもや若者が地域で健やかに成長できる環境づくりを進めます 14

- 1 絵本でつながる親子の時間【再掲】 14
- 2 ジュニアスポーツの支援
- 3 自然散策会 15
- 4 子ども会壁新聞
- 5 青少年の健全育成を推進する環境づくり 16
- 6 各種スポーツ大会の開催
- 7 文化芸術活動の振興 17
- 8 子ども食堂の開設・運営支援

(3)困難を抱える子どもを支援するまちづくりを進めます 18

- 1 知っていますか「189」 18
- 2 虐待防止に関する子育て支援講座の実施
- 3 フードドライブ推進事業 19
- 4 ヤングケアラーの早期発見、相談支援、関係機関との情報共有

将来像2 ひとの輪がひろがる 助けあいのまち 21

(1)高齢、障害、児童等の属性や世代を問わない包括的な相談支援体制を整備します 22

- 1 重層的支援体制整備事業 22

(2)高齢者が安心して住み慣れた地域で暮らし続けられるよう支援します 23

- 1 地域包括ケア区民のつどい 23
- 2 名東区訪問看護ステーション連絡会との意見交換・情報共有
- 3 認知症市民講演会の開催 24
- 4 認知症サポーターの拡大
- 5 認知症カフェの増設 25
- 6 地域支えあい事業の実施
- 7 ふれあい・いきいきサロンの整備等の推進 26
- 8 介護フェアの開催
- 9 介護予防（フレイル予防）活動の啓発 27

10 高齢者見守りネットワークの強化	27
11 SOSあんしんカード	28
【新】12 名東ほっとけんカード	

(3)障害及び障害者に対する理解促進と障害者の自立・社会参加を支援します 29

1 障害理解啓発事業	29
2 障害福祉関係機関支援体制強化事業	
3 障害者自立・社会参加促進事業	30
4 「めいとう福祉まつり」の開催	

(4)地域で共に助けあい、尊重し認めあい、共生し、誰もが幸せを実感できるまちづくりを進めます 31

1 人権尊重のまちづくり事業	31
2 翻訳機を用いた案内	
3 男女平等参画推進事業・地域女性活動促進事業	32

(5)いくつになっても健康で生きがいを持って暮らし、地域で活躍できるよう支援します 33

1 歯と口の1日健康センター	33
2 出張健康相談	
3 地域乳がん検診	34
4 食育推進協力店登録事業	
5 「60歳の門出を祝う会～還暦式～」の開催及び参加者への地域活動参加支援	35

【新】6 「Petitセカンドステージフェス」の開催

将来像3 地域がつながる 安心・安全なまち 37

(1)災害に備え「自助」「共助」「公助」の役割を意識し、迅速かつ的確な対応が行える災害に強いまちづくりを進めます 38

1 防災相談会	38
2 あなたの家庭の防災アシスト事業	
3 幼児とパパ・ママ世代の防災あんしん事業	39
4 総合水防訓練、総合防災訓練	
5 A(あんしん)・A(あんぜん)ひろば	40
6 自主防災訓練	
7 自主防災リーダー講習会	41
8 指定避難所運営訓練・リーダー研修の実施	
9 めいとう総合見守り支援事業	42
10 初動対応訓練	
11 防災調整会議	43
12 住宅用火災警報器設置・点検の促進	
13 火災予防・救急車適正利用の普及啓発	44
14 消防団との連携強化の推進	
15 道路・公園等のパトロール	45

【新】16 災害時の医療提供体制の調査検討

(2)犯罪や交通事故がなく、安心して安全な地域づくりを進めます 46

1 A(あんしん)・A(あんぜん)ひろば【再掲】	46
2 地域の防犯力の向上	
3 交通事故のないまちづくりの推進	47

将来像4 次世代につながる 自然豊かな快適な環境のまち

48

(1)身近な自然に親しめる環境を守り続けます

49

1 自然散策会【再掲】

49

2 名東の日・区民まつり

3 なでしこKADAN

50

4 猪高緑地の森づくり

(2)快適で美しい生活環境づくりを進めます

51

1 路上禁煙の推進

51

2 清掃活動団体の活動支援

3 空地・空家の適切な管理の推進

52

4 放置自転車の追放

5 おさんぽマイスター宣言

53

6 マナーつながる黄色い輪活動

(3)次世代につなぐ環境に配慮した行動を進めます

54

1 エコフェスタ名東

54

2 めいとう×サステナブルアクション

3 ごみ減量の推進

55

将来像5 笑顔がひろがる 魅力と交流のまち

57

(1)まちの魅力資源を発掘・活用・発信し、にぎわいと交流のあるまちづくりを進めます

58

1 区の花「ナデシコ」のPR推進

58

2 メイトウ情報チャンネル

3 名東魅力発信事業（#めいとうぐらむ）

59

4 自然散策会【再掲】

5 名東の日・区民まつり【再掲】

60

6 区まちづくり基金

(2)生涯を通してスポーツや文化・芸術活動に親しむまちづくりを進めます

61

1 各種スポーツ大会の開催【再掲】

61

【新】2 めい冬音楽祭

3 文化芸術活動の振興【再掲】

62

(3)区民が主体となり、多様な協働・連携を進めるまちづくりに取り組みます

63

1 地域コミュニティ活性化の支援

63

2 「60歳の門出を祝う会～還暦式～」の開催及び参加者への地域活動参加支援【再掲】

【新】3 学区情報の発信によるコミュニティづくりの推進

64

4 パートナーシップ協定

区役所づくり 親しまれ信頼される 区役所をめざして

66

(1) DXの推進等により区民の皆さまに満足いただけるサービスを提供します

67

- 1 接遇研修
- 2 ICTを活用した窓口サービス等の提供

67

(2)区民の皆さまの声を区政に反映します

68

- 1 区民会議
- 2 区民ミーティング
- 3 区民アンケート
- 4 ナデシコBOX

68

69

(3)区民の皆さまにわかりやすく、必要な情報を提供します

70

- 1 情報発信・広報

70

事業シートの見方

事業名

事業名を示しています。なお、区長裁量予算（区の創意工夫を活かせる区長の裁量が発揮できる予算）による事業はその旨を表記しています。

区分

令和7年度からの新規事業は「新規」、拡充事業は「拡充」、前年度からの継続事業は「継続」と表記しています。

事業名	<区長裁量予算> 子育て支援情報の充実			担当課	民生子ども課
目的	子育て支援機関や関係者と連携して地域の子育て支援情報を紹介するため、実施します。			区分	継続
取組内容	子育て支援ネットワーク連絡会及び主任児童委員連絡会と連携し、子育て支援情報誌「はじめのいっぽ」を名東区公式ウェブサイトで公開します。 また、一目でわかりやすい子育て支援情報を集約した「名東区子育てマップ」を発行し、「はじめのいっぽ」と併せて主任児童委員による赤ちゃん訪問で配付するほか、転入された方に民生子ども課の窓口などで配付します。さらに、引き続きweb版名東区子育てマップを公開します。 これらを通して、土曜日にも交流や悩みの相談ができる場として、子育て応援拠点及び子育て支援拠点の案内を行います。				
計画目標	web版名東区子育てマップのアクセス件数 100,000件			予算額	561千円
前年度実績	74,969件(3/17時点)	前年度決算額	561千円	目標達成状況	C
前年度計画目標	web版名東区子育てマップのアクセス件数 100,000件				

計画目標

令和7年度における取組内容の計画目標を示しています。

前年度実績

前年度（令和6年度）における取組内容の計画目標を示しています。

前年度計画目標

前年度（令和6年度）計画目標に対する実績を示しています。

前年度決算額

前年度（令和6年度）における区長裁量予算の決算額を示しています。

予算額

令和7年度における区長裁量予算の予算額を示しています。

目標達成状況

事業単位の目標達成状況を以下の基準で評価しています。

A: 目標値の95%以上、または期間内に実施

B: 目標値の80%以上、または3か月以内に実施

C: 目標値の50%以上、または4か月以上遅れて年度内実施

D: 目標値の50%未満、または未実施

※経常業務は、計画期間どおりに実施できているかで評価

令和7年度区政運営方針事業シート

将来像Ⅰ 未来につながる 子育てしやすい、子どもが幸せを描けるまち

Ⅰ 施策

- (1)地域で安心して妊娠・出産・子育てができる環境づくりを進めます
- (2)子どもや若者が地域で健やかに成長できる環境づくりを進めます
- (3)困難を抱える子どもを支援するまちづくりを進めます

2 ナデシコビジョン2028に掲げる成果指標の進捗状況

施策	指 標	ビジョン 策定時 の値	令和 6年度 実績	目標値 令和 10年度	進捗状況
(1)	子育てしやすいまちだと思える区民の割合	88.5%	87.1%	91%	☆
(2)	子ども・若者が健やかに成長していると思える区民の割合	89.1%	89.9%	91%	☆☆☆☆
(3)	児童虐待の通告先（児童相談所又は区役所）を知っている区民の割合	68.6%	70.4%	80%	☆☆☆

3 ナデシコプランに掲載している事業の目標達成状況

施 策	目標達成状況				
	A	B	C	D	合計
(1)地域で安心して妊娠・出産・子育てができる環境づくりを進めます	4	1	2	1	8
(2)子どもや若者が地域で健やかに成長できる環境づくりを進めます	9	2	0	1	12
(3)困難を抱える子どもを支援するまちづくりを進めます	2	1	1	0	4
合 計	15	4	3	2	24

(1)地域で安心して妊娠・出産・子育てができる環境づくりを進めます

事業名	<区長裁量予算> 子育て支援情報の充実			担当課	民生子ども課
目的	子育て支援機関や関係者と連携して地域の子育て支援情報を紹介するため、実施します。			区分	継続
取組内容	子育て支援ネットワーク連絡会及び主任児童委員連絡会と連携し、子育て支援情報誌「はじめのいっば!」を名東区公式ウェブサイトで公開します。 また、一目でわかりやすい子育て支援情報を集約した「名東区子育てマップ」を発行し、「はじめのいっば!」と併せて主任児童委員による赤ちゃん訪問で配付するほか、転入された方に民生子ども課の窓口などで配付します。さらに、引き続きweb版名東区子育てマップを公開します。 また、交流や悩みの相談ができる場として、土曜日にも利用できる子育て応援拠点及び子育て支援拠点の案内を行います。				
計画目標	web版名東区子育てマップのアクセス件数 70,000件			予算額	555千円
前年度実績	78,788件(3/31時点)	前年度 決算額	561千円	目標達成 状況	C
前年度計画目標	web版名東区子育てマップのアクセス件数 100,000件				

事業名	出張保育相談窓口の充実			担当課	民生子ども課
目的	保育を希望する保護者が相談しやすい環境をつくるとともに、相談する機会を増やすため、実施します。			区分	継続
取組内容	出張保育相談では、今後の子育てに関する不安を少しでも解消できるよう、主に保育所の利用に向けた情報提供を出張形式で実施しています。保育所を始め、子育て世帯の方が集まる場所においての出張保育相談窓口の回数を増やし、保育所の利用説明及び区内の施設情報の提供を行います。				
計画目標	保育案内人による相談会の参加者数 250人			予算額	—
前年度実績	保育案内人による相談会の参加者数 203人	前年度 決算額	—	目標達成 状況	C
前年度計画目標	保育案内人による相談会の参加者数 300人				

事業名	子育て総合相談窓口			担当課	保健予防課
目的	妊娠期を含めた子育て家庭への切れ目のない支援を行い、併せて子どもの虐待予防を図ることを目的としています。			区分	継続
取組内容	名古屋市では、各区保健センターに子育て総合相談窓口を設置し、専任保健師等が学区担当保健師や、民生子ども課など関係機関と連携を図りながら支援を行っています。 母子健康手帳交付時には妊婦の全数面接を行い、ハイリスク妊婦の把握と、必要に応じた早期支援に繋げていきます。併せて、妊娠・出産・子育てに関する各種相談や、必要な情報提供・アドバイス等の支援を実施します。				
計画目標	通年実施			予算額	—
前年度実績	通年実施	前年度 決算額	—	目標達成 状況	A
前年度計画目標	通年実施				

事業名	子育てふれあい広場の開催			担当課	民生子ども課
目的	地域の子育てに関わる機関や団体が協力し、多様な子育てのニーズに応えるため、実施します。			区分	継続
取組内容	区内の子育て支援機関で構成した名東区子育て支援ネットワーク連絡会が中心となり、親子で楽しめるイベントを開催します。絵本コーナー及び子育て支援機関紹介などを実施します。				
計画目標	参加者数 400人			予算額	—
前年度実績	参加者数 475人(概数)	前年度 決算額	—	目標達成 状況	A
前年度計画目標	参加者数 100人				

事業名	<区長裁量予算> 子育てミニ広場の開催			担当課	民生子ども課
目的	遊びの広場を通じた情報提供（子育て支援センター、エリア保育所及び児童館などの子育て支援施設の紹介並びにイベント案内など）及び育児相談により子育て支援を行うため、実施します。			区分	継続
取組内容	地域子育て支援センター等が中心となり、区内の保育園等の協力を得て、様々な場所で遊びの場として年8回開催します。 地域の資源として愛知東邦大学との連携や協力も行いながら開催します。				
計画目標	参加者数 300人			予算額	160千円
前年度実績	参加者数 282人	前年度 決算額	160千円	目標達成 状況	B
前年度計画目標	参加者数 300人				

事業名	<区長裁量予算> 子育てサロンの支援			担当課	民生子ども課
目的	地域で交流できる場をつくるとともに、子育てに関する相談ができる子育てサロンの魅力を向上させるため、実施します。			区分	継続
取組内容	子育てサロンは、各学区の主任児童委員が主体となって、子育てをしている保護者及びその子の交流及び相談の場として、玩具や絵本を準備し、コミュニティセンターでおしゃべり会などを月1回から週1回開催します。このほか、お誕生会及びクリスマス会などのイベントも実施します。この実施にあたり、専門家講師による講座開催や玩具や絵本などの備品購入について、助成します。 また、名東区公式ウェブサイトにおいて、学区ごとの開催日程等を広報し、参加人数の増加を図っています。				
計画目標	19学区			予算額	475千円
前年度実績	子育てサロン開催 19学区 (助成事業 19学区)	前年度 決算額	470千円	目標達成 状況	A
前年度計画目標	子育てサロン開催 19学区 (助成事業 19学区)				

事業名	<区長裁量予算> 絵本でつながる親子の時間			担当課	民生子ども課
目的	絵本をツールとして、親と子、そして親と親をつなぐことで、子育ての負担感を軽減するもの。			区分	継続
取組内容	絵本をツールとして、親子と親同士の交流の場を提供し、子育ての負担感を軽減を図ります。また、名東区在住の絵本作家により、地域の様々な子育て支援者（主任児童委員など）への研修も併せて実施することで、地域で子育てを応援する体制を構築し、親子と地域のつながりを作り、子育てしやすいまちを醸成します。 さらに、名東区で実施している「絵本に関する取組み」をまとめた広報媒体を活用し、赤ちゃん訪問の際に子育て世帯に情報提供するとともに、区民まつりなどのイベントの際に、子育て世帯に対し絵本を活用した取組の周知及び参加の促進を行います。				
計画目標	参加者数 100人（子育てサロン）			予算額	1,498千円
前年度実績	121人	前年度 決算額	1,500千円	目標達成 状況	A
前年度計画目標	100人				

事業名	<区長裁量予算> 名東区立つながる仮想動物園			担当課	企画経理課
目的	名東区を舞台にした「名東区オリジナル絵本」を制作・配布等し、子育て支援施設の利用促進及び絵本を通じた区の名所・魅力の発信を図ります。			区分	継続
取組内容	子育て支援施設等に巨大動物イラストパネルを設置した「名東区立つながる仮想動物園」の第2弾として、名東区在住の絵本作家による、名東区の緑地等を舞台にした、区内を回遊したくなる「名東区オリジナル絵本」を制作・配布するとともに、親子で参加できるオリジナルスタンプラリーを実施します。				
計画目標	・オリジナルスタンプラリー参加者数 50名			予算額	1,706千円
前年度実績	イラスト化動物の区民投票件数 229件	前年度 決算額	1,100千円	目標達成 状況	D
前年度計画目標	イラスト化動物の区民投票件数 500件				

(2)子どもや若者が地域で健やかに成長できる環境づくりを進めます

再掲

事業名	<区長裁量予算> 絵本でつながる親子の時間			担当課	民生子ども課
目的	絵本をツールとして、親と子、そして親と親をつなぐことで、子育ての負担感を軽減するもの。			区分	継続
取組内容	絵本をツールとして、親子と親同士の交流の場を提供し、子育ての負担感の軽減を図ります。また、名東区在住の絵本作家により、地域の様々な子育て支援者（主任児童委員など）への研修も併せて実施することで、地域で子育てを応援する体制を構築し、親子と地域のつながりを作り、子育てしやすいまちを醸成します。 さらに、名東区で実施している「絵本に関する取組み」をまとめた広報媒体を活用し、赤ちゃん訪問の際に子育て世帯に情報提供するとともに、区民まつりなどのイベントの際に、子育て世帯に対し絵本を活用した取組の周知及び参加の促進を行います。				
計画目標	参加者数 100人(子育てサロン)			予算額	1,498千円
前年度実績	121人	前年度 決算額	1,500千円	目標達成 状況	A
前年度計画目標	100人				

事業名	<区長裁量予算> ジュニアスポーツの支援			担当課	地域力推進課
目的	ジュニアスポーツクラブの指導者等に対して必要な専門知識の習得や指導技術の向上を図るための講習会を開催することで、子どもたちが、健康で安全に活動できるよう支援する事業を実施します。			区分	継続
取組内容	ジュニアスポーツクラブ運営委員会において、グループ交流を通じて意見交換会を実施し、指導者間の交流を深める機会を充実させるとともに、指導者、運営にあたる保護者等の知識向上を図るため「児童に対する安全・健康管理の指導手法」、「子どもがスポーツを楽しむことの重要性」などについて専門講師を招いた講習会を実施します。				
計画目標	指導者講習会の参加者から「参考になった」と回答いただいた割合 90%以上			予算額	49千円
前年度実績	指導者講習会の参加者から「参考になった」と回答いただいた割合 95%	前年度 決算額	49千円	目標達成 状況	A
前年度計画目標	指導者講習会の参加者から「参考になった」と回答いただいた割合 90%				

事業名	<区長裁量予算> 自然散策会			担当課	地域力推進課
目的	ガイドボランティアと連携し、参加者の皆さまに名東区の豊かな自然にふれていただくため実施します。			区分	継続
取組内容	ガイドボランティアによる案内により、参加者の皆さまに植物や生き物の生態を学んでいただきながら、名東区の緑豊かな自然の魅力をより身近に感じていただく自然散策会を、季節の見どころや時期を考慮して、区内の三大緑地（猪高緑地、明德公園、牧野ヶ池緑地）でそれぞれ2回ずつ年間計6回開催します。 各回において季節の見どころをテーマに設定し、ミニゲームや昆虫の観察など、子どもから高齢者まで幅広い年代で楽しめる企画を盛り込みます。また、SDGs(持続可能な開発目標)の普及啓発や三大緑地のパネル展示を行います。				
計画目標	自然散策会(年6回)参加者数 200人			予算額	121千円
前年度実績	自然散策会(年6回)参加者数 202人	前年度 決算額	111千円	目標達成 状況	A
前年度計画目標	自然散策会(年6回)参加者数 200人				

事業名	子ども会壁新聞			担当課	民生子ども課
目的	各子ども会が1年間の活動を壁新聞にして一齐に展示することにより、区民へ情報発信を行うとともに会の活動の活性化につなげます。			区分	継続
取組内容	各子ども会が工夫を凝らして壁新聞を作成。区役所講堂等に展示し、子ども会活動を楽しむ子どもたちの様子を伝えます。 審査員（区子ども会育成連絡協議会会長、社会福祉協議会会長、区政協力委員協議会議長、名東児童館館長、中日新聞社(名古屋販売部)、中日新聞販売店、名東ホームニュース社、ボランティアサークル「じゃりんこ」、区長、保健福祉センター福祉部長、民生子ども課長）の投票により優秀作品を選出します。				
計画目標	出展作品率（作品数÷区子連加盟子ども会団体数） 75%			予算額	—
前年度実績	67%	前年度 決算額	—	目標達成 状況	B
前年度計画目標	出展作品率（作品数÷区子連加盟子ども会団体数） 75%				

事業名	青少年の健全育成を推進する環境づくり			担当課	地域力推進課
目的	大人と子どもの連帯を強めるとともに、地域で子どもたちを温かく励ます機運を盛り上げることで、青少年が健全に育つ環境づくりを進める事業を実施します。			区分	継続
取組内容	区民、事業者や行政機関で構成する「安心・安全で快適なまちづくり協議会」を中心として、夏・冬の青少年をまもる街頭キャンペーンを行うほか、「子ども青少年育成区民のつどい」において区内の青少年健全育成に係る取組みの事例発表、社会を明るくする運動の優秀作文発表、青少年が健全に育つ環境づくりをすすめるための講演会を実施します。				
計画目標	区民のつどいの参加者から「良かった」と回答いただいた割合 80%以上			予算額	—
前年度実績	区民のつどいの参加者から「良かった」と回答いただいた割合 93%	前年度決算額	—	目標達成状況	A
前年度計画目標	区民のつどいの参加者から「良かった」と回答いただいた割合 80%以上				

事業名	各種スポーツ大会の開催			担当課	地域力推進課
目的	地域スポーツ団体と協力し、多種多彩なスポーツ大会等を開催することで、スポーツに興味を持ち、日常的にスポーツに親しむ区民の裾野を広げ、「つながり」の創出を図る事業を実施します。			区分	継続
取組内容	地域スポーツ団体及び各競技団体と協力し、ソフトボール、レクバレー、レクインディアカ、グラウンド・ゴルフを始めとする多種多彩なスポーツ大会を開催するほか、千種区と合同で行う大規模スポーツイベントである「家族ジョギング・ウォーキング大会」やユニバーサルスポーツを体験できる事業などを開催します。また、令和5年から新たに開催しているモルック大会を継続して開催していきます。				
計画目標	モルック大会出場者数 228人(4人×3部門×19学区)			予算額	—
前年度実績	モルック大会出場者数 204人	前年度決算額	—	目標達成状況	B
前年度計画目標	モルック大会出場者数 228人				

事業名	文化芸術活動の振興			担当課	地域力推進課
目的	文化芸術団体の協力を得ながら、幅広い世代の区民が気軽に文化・芸術を楽しむことのできる環境をつくるとともに、文化芸術活動の振興を図る事業を実施します。			区分	継続
取組内容	各文化芸術団体と協力して、区民美術展やいけばな展といった区民の作品の展示事業を実施するとともに、総合芸術・芸能祭やコーラス交歓会といった舞台芸術の発表事業を実施し、文化・芸術活動を行う区民の活動を支援します。また、加えて未就学児も参加可能な「わがまち名東」フェスティバルファミリーコンサートを開催するなど、幼児から高齢者まで幅広い世代の区民が気軽に文化芸術を楽しむことができる事業を展開します。また、小中学生を対象として令和5年度から新たに開催しているジュニア美術展を継続して開催します。				
計画目標	区民美術展出品数 150点 ジュニア美術展出品数 30点			予算額	—
前年度実績	区民美術展出品数156点 ジュニア美術展出品数 46点	前年度 決算額	—	目標達成 状況	A
前年度計画目標	区民美術展出品数150点 ジュニア美術展出品数 30点				

事業名	子ども食堂の開設・運営支援			担当課	社会福祉協議会
目的	地域の中で様々な人とのつながりを持つと同時に、食事を通して子どもの健やかな育ちを支え、子どもが一人でも安心して来られるような楽しい居場所として、子ども食堂の開設・運営を支援する			区分	継続
取組内容	・子ども食堂運営者同士の意見交換や情報交換等を行う「子ども食堂運営者交流会」を開催する。 ・子ども食堂運営者およびボランティアへ、開設や運営に関する助成金等の情報を提供する。				
計画目標	「子ども食堂運営者交流会」の開催 年1回			予算額	—
前年度実績	「子ども食堂運営者交流会」の開催数 年1回	前年度 決算額	—	目標達成 状況	A
前年度計画目標	「子ども食堂運営者交流会」の開催 年1回				

(3)困難を抱える子どもを支援するまちづくりを進めます

事業名	知っていますか「189」			担当課	民生子ども課
目的	児童虐待について啓発するとともに、児童虐待の連絡先として、児童相談所虐待対応ダイヤルである「189」を周知するため、実施します。			区分	継続
取組内容	児童虐待防止推進月間である5月及び11月に行う行事（区民まつり、子育てふれあい広場、A・Aひろば及び子育て支援講座など）を活用し、児童虐待防止の啓発に加え、「189」の周知を行います。				
計画目標	児童虐待の通告先を知っている区民の割合 73.2%			予算額	—
前年度実績	児童虐待の通告先を知っている区民の割合 70.4%	前年度決算額	—	目標達成状況	A
前年度計画目標	児童虐待の通告先を知っている区民の割合 70.8%				

事業名	虐待防止に関する子育て支援講座の実施			担当課	民生子ども課
目的	親が子育てに関する悩みを抱え込まず、安心して取り組んでいくことができるよう、子育て支援講座及びワークショップを開催します。			区分	継続
取組内容	子どもの気持ちに寄り添ったタッチケアの方法を知るとともに、親同士のつながりを構築できるよう、子育て支援講座を開催します。 また、絵本を活用したコミュニケーションの方法を学び、親子の新しい関わり方を見つけることができるよう、ワークショップを実施します。				
計画目標	延べ参加者数 130人			予算額	—
前年度実績	延べ参加者数 122人	前年度決算額	—	目標達成状況	B
前年度計画目標	延べ参加者数 130人				

事業名	フードドライブ推進事業			担当課	社会福祉協議会
目的	お持ちいただいた食品を生活の支援を必要としている世帯や子ども食堂などに無償で配布する。			区分	継続
取組内容	余っている食品を社会福祉協議会にお持ち寄りいただき、生活の支援を必要としている世帯や子ども食堂などに無料で配布する。				
計画目標	協力者数:35名			予算額	—
前年度実績	協力者数:30名	前年度決算額	—	目標達成状況	A
前年度計画目標	通年実施				

事業名	ヤングケアラーの早期発見、相談支援、関係機関との情報共有			担当課	民生子ども課
目的	子どもの生活上の困難感を軽減するために、実施します。			区分	継続
取組内容	定期的に学校との会議の場などにおいて、情報共有をすることにより、ヤングケアラーの早期発見を図ります。また、発見した場合、関係機関と協働・連携して支援を行います。 養育上の支援が必要な家庭に対し、子どもの安全確認を行うとともに、保護者の家事及び育児技術の向上並びに家庭における養育環境の改善を図るために、養育支援ヘルパーの派遣について、申請を勧奨します。				
計画目標	校内チーム会議参加 延べ10校			予算額	—
前年度実績	校内チーム会議参加 延べ10校	前年度決算額	—	目標達成状況	C
前年度計画目標	校内チーム会議参加 延べ15校				

<令和6年度完結事業実績>

将来像Ⅰ 未来につながる 子育てしやすい、子どもが幸せを描けるまち

(2)子どもや若者が地域で健やかに成長できる環境づくりを進めます

事業名	<区長裁量予算> めいとう×サステナブルアクション		担当課	公害対策課	
実績	イベント参加者数 600名	決算額	3,198千円	目標達成 状況	A
計画目標	イベント参加者数 500名				

※将来像4-(3)では継続実施

事業名	<区長裁量予算> みんなでやろう!ユニバーサルスポーツ		担当課	地域力推進課	
実績	ユニバーサルスポーツ体験 参加者1,155名	決算額	2,063千円 ※名東ユース 音楽祭と共通	目標達成 状況	A
計画目標	ユニバーサルスポーツ体験 参加者500名				

事業名	<区長裁量予算> 名東ユース音楽祭		担当課	地域力推進課	
実績	名東ユース音楽祭 参加者1,200名	決算額	2,063千円 ※みんなでや ろう!ユニバー サルスポーツと 共通	目標達成 状況	A
計画目標	名東ユース音楽祭 参加者500名				

事業名	<区長裁量予算> 名東区魅力発信事業(＃めいとうぐらむ)		担当課	企画経理課	
実績	・「＃めいとうぐらむ」を付けた投稿数 300件 ・区公式アカウント「510meitogram」のフォロワー数 495人	決算額	—	目標達成 状況	D
計画目標	・「＃めいとうぐらむ」を付けた投稿数1,000件(年間) ・区公式アカウント「510meitogram」のフォロワー数 1,000人(累計)				

※将来像5-(1)では継続実施

令和7年度区政運営方針事業シート

将来像2 ひとの輪がひろがる 助けあいのまち

1 施策

- (1) 高齢、障害、児童等の属性や世代を問わない包括的な相談支援体制を整備します
- (2) 高齢者が安心して住み慣れた地域で暮らし続けられるよう支援します
- (3) 障害及び障害者に対する理解促進と障害者の自立・社会参加を支援します
- (4) 地域で共に助けあい、尊重し認めあい、共生し、誰もが幸せを実感できるまちづくりを進めます
- (5) いくつになっても健康で生きがいを持って暮らし、地域で活躍できるよう支援します

2 ナデシコビジョン2028に掲げる成果指標の進捗状況

施策	指 標	ビジョン 策定時 の値	令和 6年度 実績	目標値 令和 10年度	進捗状況
(1)	重層的支援体制整備事業を知っている区民の割合	5.2%	8.6%	50%	☆☆
(2)	困ったときに相談できる人が隣近所や地域にいる高齢者の割合	69.3%	66.7%	75%	☆
(3)	障害の有無にかかわらず、誰もが社会の一員としてお互いに尊重し、共に暮らすことを目指す地域社会が実現できていると思う区民の割合	49.6%	52.1%	60%	☆☆☆☆
(4)	人権が尊重されていると感じている区民の割合	78.8%	79.7%	80%	☆☆☆☆
(5)	健康であると感じている区民の割合	85.4%	83.5%	90%	☆
	生きがいがあると感じている高齢者の割合	79.8%	74.8%	85%	☆

3 ナデシコプランに掲載している事業の目標達成状況

施 策	目標達成状況				
	A	B	C	D	合計
(1) 高齢、障害、児童等の属性や世代を問わない包括的な相談支援体制を整備します	0	0	1	0	1
(2) 高齢者が安心して住み慣れた地域で暮らし続けられるよう支援します	9	2	0	1	12
(3) 障害及び障害者に対する理解促進と障害者の自立・社会参加を支援します	3	0	0	1	4
(4) 地域で共に助けあい、尊重し認めあい、共生し、誰もが幸せを実感できるまちづくりを進めます	4	0	0	0	4
(5) いくつになっても健康で生きがいを持って暮らし、地域で活躍できるよう支援します	5	0	0	1	6
合 計	21	2	1	3	27

(1)高齢、障害、児童等の属性や世代を問わない包括的な相談支援体制を整備します

事業名	重層的支援体制整備事業			担当課	福祉課、民生子ども課、社会福祉協議会
目的	各種制度等の狭間にあり必要な支援が行き届いていない人や世帯に対する支援を行うため、実施します。			区分	継続
取組内容	(1) 多機関による協働支援 必要な支援が行き届いていない人や世帯に対し、関係機関や団体、地域とも連携して、役割分担をしながら支援を行います。 (2) 本人に寄り添った支援 支援に拒否的な方など、すぐに支援につながらない人や世帯に対し、様々な方法を用いて本人に寄り添った働きかけを行います。 (3) 社会とつながるきっかけづくり つながりづくりの拠点『ココ・てらす』の運営などを通じ、社会から孤立している人や生きづらさを感じている人が、社会や地域とつながるしくみを作ります。 また、これらの取り組みを推進するため、「区連携会議」を開催し、各機関の連携体制の構築や情報共有、区として必要な取り組みの検討などを行います。 加えて、当該事業の周知のため、地域づくり支援の一環として地域住民や福祉関係者、支援関係機関などへ事業の説明を行うほか、広報媒体での周知を行います。				
計画目標	重層的支援体制整備事業を知っている区民の割合 24%			予算額	—
前年度実績	重層的支援体制整備事業を知っている区民の割合 8.6%	前年度決算額	—	目標達成状況	C
前年度計画目標	重層的支援体制整備事業を知っている区民の割合 15%				

(2)高齢者が安心して住み慣れた地域で暮らし続けられるよう支援します

事業名	地域包括ケア区民のつどい			担当課	福祉課
目的	訪問診療や介護サービス等を利用した在宅療養についての区民の理解の促進を図るため、実施します。			区分	継続
取組内容	名東区医師会と共催で、在宅医療と介護の連携に関する区民向け講演会を1回開催します。				
計画目標	アンケートにて「理解できた」「少し理解できた」と回答した割合が合わせて90%(未記入は除く)			予算額	—
前年度実績	アンケートにて「理解できた」「少し理解できた」と回答した割合が合わせて97.8%(未記入は除く)	前年度決算額	—	目標達成状況	A
前年度計画目標	アンケートにて「理解できた」「少し理解できた」と回答した割合が合わせて90%(未記入は除く)				

事業名	名東区訪問看護ステーション連絡会との意見交換・情報共有			担当課	保健予防課
目的	健康危機の発生時に備え、地域包括ケアシステムの観点から地域医療資源と連絡を密にし、区民の安心・安全の確保につなげるもの。			区分	継続
取組内容	名東区訪問看護ステーション連絡会へ出席し、関連する保健所事業に関する意見交換及び情報提供を行う				
計画目標	年4回(四半期毎)の連絡会への出席			予算額	—
前年度実績	4回出席	前年度決算額	—	目標達成状況	A
前年度計画目標	4回出席				

事業名	認知症市民講演会の開催			担当課	保健予防課、福祉課、社会福祉協議会
目的	地域住民、認知症の方の家族や介護サービス関係者に対し、認知症医療や認知症予防に関する正しい知識の普及を推進することを目的とし実施します。			区分	継続
取組内容	名東区地域包括ケア推進会議認知症専門部会では、「認知症市民講演会」を平成23年より毎年1回開催しています。 認知症の予防・支援に関する講演、家族や支援者が実践できる様々な活動の紹介・実技指導などを継続して実施していきます。				
計画目標	アンケートにて「理解できた」「少し理解できた」と回答した割合が80%（未記入は除く）以上			予算額	—
前年度実績	アンケートにて「理解できた」「少し理解できた」と回答した割合85.3%	前年度決算額	—	目標達成状況	A
前年度計画目標	アンケートにて「理解できた」「少し理解できた」と回答した割合が80%				

事業名	認知症サポーターの拡大			担当課	福祉課
目的	認知症を理解し認知症の人やその家族を暖かく見守る認知症サポーターを増やすため、実施します。			区分	継続
取組内容	区民向けの認知症サポーター養成講座を定期開催するほか、官公署や小中高校、大学生、金融機関や商業施設等の事業者に対し、受講対象者に見合った内容で認知症サポーター養成講座を開催し、認知症サポーターを増やします。				
計画目標	受講者数 400人			予算額	—
前年度実績	受講者数 411人（令和7年3月末時点）	前年度決算額	—	目標達成状況	A
前年度計画目標	受講者数 350人				

事業名	認知症カフェの増設			担当課	福祉課
目的	認知症のご本人やご家族、地域住民、専門職等、認知症に関心のある誰もが気軽に集まれる場所である認知症カフェについて、身近な場所で利用できるようにするため、実施します。			区分	継続
取組内容	区内の介護保険事業所などへ助成制度などの情報を提供し、開設を働きかけます。また、高齢者サロンに対しても、認知症についての理解を深め認知症の方も気兼ねなく通えるよう働きかけます。 認知症カフェ運営者交流会では情報交換を行い、認知症カフェの普及啓発に関するアイデアを検討・実践したり、認知症カフェとろばかふえの横のつながりづくりを考えていきます。 ※ろばかふえとは、認知症カフェのうち、認知症の本人及び家族も気軽に集える高齢者サロン等のことで、名東区独自の愛称。				
計画目標	認知症カフェ設置か所数 25か所			予算額	—
前年度実績	認知症カフェ設置か所数 22か所	前年度決算額	—	目標達成状況	B
前年度計画目標	認知症カフェ設置か所数 25か所				

事業名	地域支えあい事業の実施			担当課	社会福祉協議会
目的	住民の困りごとを地域のご近所ボランティアが支援し、要支援高齢者等が自立した日常生活をできるようにすることで、住民同士の支えあい意識の向上を図る			区分	継続
取組内容	・相談窓口の開設 引山学区 月・木(13:00~16:00)／藤が丘学区 水・金(9:00~12:00) 梅森坂学区 月(9:00~12:00)・木(13:00~16:00) 北一社学区 コミセン開設時間(10:00~16:00)／高針学区 火・木(10:00~12:00) 極楽学区 火・木(13:30~16:30)				
計画目標	地域支えあい事業の新規実施 1学区			予算額	—
前年度実績	地域支えあい事業の新規実施 0学区	前年度決算額	—	目標達成状況	D
前年度計画目標	地域支えあい事業の新規実施 1学区				

事業名	ふれあい・いきいきサロンの整備等の推進			担当課	社会福祉協議会
目的	必要な方が参加しやすい環境となるように推進協や区内団体・施設等と協力し、高齢者をはじめとした住民同士が身近な場所で交流する。			区分	継続
取組内容	・運営者同士の情報共有と交流、イベント等の情報提供や運営サポート、プログラム開発を目的に月1回「さろん♥すてっぷ」を開催 ・名古屋市福祉基金運営助成金申請受付などを通して運営者を支援する。 ・名古屋市福祉基金開設助成金申請受付などを通して開設希望者を支援する。				
計画目標	サロン設置か所数 81か所 さろん♥すてっぷ 延べ参加者数 120人			予算額	—
前年度実績	サロン設置か所数 76か所 さろん♥すてっぷ 延べ参加者数 106人	前年度 決算額	—	目標達成 状況	B
前年度計画目標	サロン設置か所数 85か所 さろん♥すてっぷ 延べ参加者数 180人				

事業名	介護フェアの開催			担当課	福祉課
目的	地域包括ケアシステムや介護保険制度の普及啓発を図るとともに、地域の介護・医療資源の周知や介護について考えるきっかけづくりとするため、実施します。			区分	継続
取組内容	名東区地域包括ケア推進会議と名東区介護保険関係事業者連絡会が共催で、多くの区民が利用する商業施設等を会場として、介護に関する相談、健康チェック、福祉用具体験などの、介護を身近に感じてもらうためのイベント「介護フェア」を開催します。				
計画目標	来場者数 400人			予算額	—
前年度実績	来場者数 367人	前年度 決算額	—	目標達成 状況	A
前年度計画目標	来場者数 200人				

事業名	介護予防(フレイル予防)活動の啓発			担当課	保健予防課
目的	区内の高齢者が、要介護状態になる事を予防し、要介護状態等の軽減または悪化を防止することを目的とします。			区分	継続
取組内容	令和2年度には介護予防マップ、令和3年度及び4年度にはコロナ禍でも在宅でフレイル予防に取り組むためのウォーキングに関するリーフレット及び栄養に関するリーフレットを作成・配布するなどの普及啓発を行ってきました。令和5年度は、新型コロナウイルス感染症の位置づけが5類感染症になったことを受け、今後、各地域において保健環境委員が中心となってフレイルの予防活動ができるように、保健環境委員向けフレイル予防教室を実施しました。今後も保健環境委員とタイアップして一般の方を含めたフレイル予防教室を実施し、地域の介護予防(フレイル予防)活動を推進していきます。				
計画目標	実施回数 5回			予算額	—
前年度実績	実施回数 7回	前年度決算額	—	目標達成状況	A
前年度計画目標	実施回数 5回				

事業名	高齢者見守りネットワークの強化			担当課	福祉課
目的	今後高齢化がますます進展することに伴い、65歳以上ひとり暮らし高齢者や75歳以上高齢者のみ世帯の増加が見込まれるなか、高齢者の見守りを強化するため実施します。			区分	継続
取組内容	高齢者福祉相談員による高齢者訪問を、より見守り支援が必要な方に手厚い訪問となるようにしていきます。 また、「名東区地域包括ケア推進会議 孤立対策部会」を中心に、高齢者の社会参加の促進や見守り支援の方策を検討し、地域住民・関係機関などとともに実施していきます。				
計画目標	連携強化を図る会議等の開催 年2回以上			予算額	—
前年度実績	連携強化を図る会議等の開催 2回開催	前年度決算額	—	目標達成状況	A
前年度計画目標	連携強化を図る会議等の開催 年2回以上				

事業名	SOSあんしんカード			担当課	福祉課、総務課、保健予防課、社会福祉協議会
目 的	ひとり暮らし高齢者や障害のある方などが救急時・災害時に備え、いざという時の安心・安全につなげるため、実施します。			区 分	継続
取組内容	医療情報や緊急連絡先等を記録し携帯・保管しておく「めいとうSOSあんしんカード」を、民生委員や社会福祉協議会、保健予防課などの関係機関と連携して、必要な方への配布をすすめます。また、広報なごや等を活用して、広く区民にPRを行い、すでに持っている方に対しても、最新の情報に更新されるようにすすめていきます。				
計画目標	「めいとうSOSあんしんカード」の配付 1,000枚			予算額	—
前年度実績	「めいとうSOSあんしんカード」の配付 1,090枚	前年度決算額	—	目標達成状況	A
前年度計画目標	「めいとうSOSあんしんカード」の配付 1,000枚				

事業名	〈区長裁量予算〉 名東ほっとけんカード		担当課	福祉課	
目 的	高齢者が住み慣れた地域で安心して暮らせるまちづくりを目指し、民間事業者の協力による区内の見守り活動を推進するため、実施します。		区 分	新規	
取組内容	民間事業者の事業活動において、高齢者の異変や心身の状況の変化に気付いた場合等の連絡（通報）先を一覧化し、携行できる高齢者見守りカード（名東ほっとけんカード）を作成します。カードは、名東区との高齢者の見守り活動に係る協定締結事業者及び区内の高齢者見守り協力事業者に配付し、区内の見守り活動を推進します。				
計画目標	「名東ほっとけんカード」の配付 2,610枚			予算額	127千円
前年度実績	—	前年度決算額	—	目標達成状況	—
前年度計画目標	—				

(3)障害及び障害者に対する理解促進と障害者の自立・社会参加を支援します

事業名	<区長裁量予算> 障害理解啓発事業			担当課	福祉課
目的	地域共生社会の実現を目指し、市民等の障害や障害者に対する理解を促進するため、実施します。			区分	継続
取組内容	(1) 講演会の開催 関係機関と連携し、障害者週間（毎年12月3日から12月9日までの1週間）に合わせ、市民等の障害及び障害者に対する理解を促進するための講演会を開催します。 (2) 知的・発達障害等体験事業の実施 「名東の日・区民まつり」や「福祉まつり」等の機会を活用し、知的・発達障害等の擬似体験事業を実施します。				
計画目標	講演会の参加者アンケートで「理解が深まった」「少し理解が深まった」と回答いただいた割合 90%（未記入は除く）			予算額	248千円
前年度実績	講演会の参加者から「理解できた」「少し理解できた」と回答いただいた割合 89.8%（未記入は除く）	前年度決算額	489千円	目標達成状況	A
前年度計画目標	講演会の参加者から「理解できた」「少し理解できた」と回答いただいた割合 90%（未記入は除く）				

事業名	障害福祉関係機関支援体制強化事業			担当課	福祉課
目的	地域共生社会の実現を目指し、障害福祉関係機関の連携と質の高い福祉サービスの提供のため、実施します。			区分	継続
取組内容	(1) 事業所運営支援 障害福祉事業所の管理者を対象とした勉強会や若手職員の交流会等を開催します。 (2) 障害福祉講演（研修）会の開催 最新の福祉課題の理解を深めるため、障害福祉関連事業所を対象とした講演（研修）会を開催します。 (3) 防災対策（防災訓練等）の実施 障害福祉事業所の防災計画（業務継続計画）策定や利用者の避難誘導訓練の実施等の防災対策を支援します。				
計画目標	研修会等の参加者アンケートで「理解が深まった」「少し理解が深まった」と回答いただいた割合 90%			予算額	—
前年度実績	障害福祉講演会（研修会）の参加者数 19人	前年度決算額	—	目標達成状況	D
前年度計画目標	障害福祉講演会（研修会）の参加者数 100人				

事業名	<区長裁量予算> 障害者自立・社会参加促進事業			担当課	福祉課
目的	地域共生社会の実現を目指し、障害者の自立生活を支援するとともに社会参加の機会を促進するため、実施します			区分	継続
取組内容	(1)文化芸術活動支援 日ごろの文化芸術活動の発表の機会として、障害者の方が製作したアート作品の展覧会を開催します。 (2)就労・日中活動支援 学校卒業後等、障害者の方の就労・日中活動を支援するため、区内事業所を紹介するとともに利用相談できるブース展を開催します。 (3)福祉事業所マップの作成 区内事業所の福祉事業所マップを作成し、福祉サービスの利用を促進します。 (4)授産製品マルシェの開催 区内の授産製品を扱う事業所が集まり製品を販売し、地域への情報発信、交流、障害福祉を知るきっかけづくりの場としてマルシェを開催します。				
計画目標	区役所における授産製品販売日数 延べ280日			予算額	277千円
前年度実績	区役所における授産製品販売日数 延べ366日(3月末現在)	前年度決算額	168千円	目標達成状況	A
前年度計画目標	区役所における授産製品販売日数 延べ280日				

事業名	「めいとう福祉まつり」の開催			担当課	社会福祉協議会
目的	名東区内の障がい者と区民のふれあいの場として「福祉まつり」を開催し、障がい者の社会参加と区民の障がいへの理解を深める			区分	継続
取組内容	<<事業実施予定>>実行委員会で検討 *会場開催 令和8年2月22日(日) *開催場所 (候補)名東スポーツセンター *主な内容 未定 令和6年度はステージ発表、福祉製品販売、各種体験、スタンプラリー等				
計画目標	来場者数 1,800人			予算額	—
前年度実績	来場者数 1,200人	前年度決算額	—	目標達成状況	A
前年度計画目標	「めいとう福祉まつり」の開催				

(4)地域で共に助けあい、尊重し認めあい、共生し、誰もが幸せを実感できるまちづくりを進めます

事業名	人権尊重のまちづくり事業			担当課	地域力推進課
目 的	区民の人権に対する理解を深めることを目的とします。			区 分	継続
取組内容	人権尊重の理念を普及し、人権の正しい理解と認識を広め、お互いの違いや価値観を尊重できるように、人権に対する理解を深めるための講演会等を開催します。				
計画目標	参加者数 80名			予算額	—
前年度実績	講座を開催	前年度 決算額	—	目標達成 状況	A
前年度計画目標	講座を開催				

事業名	翻訳機を用いた案内			担当課	区役所内窓口職場
目 的	日本語を話すことができない外国籍住民が来庁した場合に、窓口等で翻訳機を用いて案内できる体制を整えることで、外国籍住民に対する行政サービスを向上します。			区 分	継続
取組内容	翻訳機を区役所内の各フロアに設置し、日本語を話すことができない外国籍住民が来庁した場合に、案内できる体制を整えます。				
計画目標	通年実施			予算額	—
前年度実績	通年実施	前年度 決算額	—	目標達成 状況	A
前年度計画目標	通年実施				

事業名	男女平等参画推進事業・地域女性活動促進事業		担当課	地域力推進課	
目 的	男女平等参画社会の実現をめざし、地域活動への女性の主体的参加意識を高めることを目的とします。		区 分	継続	
取組内容	区内の女性団体の代表を中心メンバーとして構成する実行委員会を組織し、区民を対象として男女平等参画推進に資するテーマの講演会等を実施する事業である「名東区男女平等参画の集い」を開催します。				
計画目標	参加者アンケートにおいて「男女平等参画について理解が進みましたか?」という質問を設定し、「大変進んだ」、「まあまあ進んだ」とする回答割合が全体の80%以上		予算額	—	
前年度実績	参加者アンケートにおいて「男女平等参画について今まで知っていましたか?」という質問を設定し、「よく知っていた」、「まあまあ知っていた」とする回答割合 60%	前年度決算額	—	目標達成状況	A
前年度計画目標	参加者アンケートにおいて「男女平等参画について今まで知っていましたか?」という質問を設定し、「よく知っていた」、「まあまあ知っていた」とする回答割合が全体の50%を超えること				

(5)いくつになっても健康で生きがいを持って暮らし、地域で活躍できるよう
支援します

事業名	歯と口の一日健康センター			担当課	保健予防課
目的	名古屋市歯と口の健康週間の実施事業として、歯と口の健康に関する正しい知識を市民に対して普及啓発し、市民の健康の保持増進に寄与することを目的とします。			区分	継続
取組内容	名東区歯科医師会、名古屋市歯科衛生士会との共催による啓発イベントを実施します。 （内容） 1 歯科検診・フッ化物塗布 2 歯みがき指導 3 歯科相談 4 記念品配布・アトラクション その他 【来場者数】 平成29年度：517人 平成30年度：456人 令和元年度：617人 令和2～4年度中止 令和5年度：101人				
計画目標	来場者 200名			予算額	—
前年度実績	来場者 162名	前年度 決算額	—	目標達成 状況	D
前年度計画目標	来場者 400名				

事業名	出張健康相談			担当課	保健予防課
目的	区民の方が多く来られる場所で行い、保健センターの事業や各種がん検診をPRすることにより、健康に対する意識を高め、健康づくりの推進を図ることを目的とします。			区分	継続
取組内容	区民まつり等で、保健師・管理栄養士・歯科衛生士による個別相談を実施します。併せて、ベジチェックや歯周病及び口臭チェックなどを実施します。また、健康づくり事業や各種がん検診のPRを行います。 【実施回数・参加人数】 令和2～4年度 実施せず 令和5年度 2回（計116人）				
計画目標	実施回数 2回			予算額	—
前年度実績	実施回数 2回	前年度 決算額	—	目標達成 状況	A
前年度計画目標	実施回数 2回				

事業名	地域乳がん検診			担当課	保健予防課
目 的	保健センターから離れている学区において、コミュニティセンター等に出向いて（委託業者のマンモグラフィー検診車使用）実施することで受診者数を高め、市民の健康保持を目的とします。			区 分	継続
取組内容	保健環境委員と連携して、コミュニティセンター等で、保健師による乳がんに関する講話、プレスト・アウェアネスの紹介・指導、医師による問診（必要時に視触診）、マンモグラフィー検査を行います。 【実施回数・参加人数】 実施回数 参加人数 令和2～3年度 実施せず 令和4年度 2回 50人 令和5年度 5回 143人				
計画目標	実施回数 7回			予算額	—
前年度実績	実施回数 6回	前年度決算額	—	目標達成状況	A
前年度計画目標	実施回数 5回				

事業名	食育推進協力店登録事業			担当課	保健予防課
目 的	「食育推進協力店」として登録し、栄養を中心とした健康情報を市民に適切に提供することにより、市民自らの健康管理を支援し、生活習慣病予防を中心とした健康づくりに寄与することを目的とします。			区 分	継続
取組内容	飲食店及び給食施設等における栄養成分表示、食生活や健康に関する情報を区民に提供します。 【登録事業者数】(年度末現在) 3年度:230店舗・施設、新規登録4店舗・施設 なごベジ1店舗 4年度:233店舗・施設、新規登録4店舗・施設 なごベジ3店舗 5年度:230店舗・施設、新規登録5店舗・施設 なごベジ1店舗 ※令和3年度から「なごベジ・ダイニング」の登録制度を設け、上記の食育推進協力店の中で野菜使用量が多い協力店に登録勸奨を行い、ウェブサイトに記事を掲載して食育環境の整備をすすめています。				
計画目標	新規登録 1店舗・施設			予算額	—
前年度実績	新規登録 2店舗	前年度決算額	—	目標達成状況	A
前年度計画目標	新規登録 1店舗・施設				

事業名	「60歳の門出を祝う会～還暦式～」の開催及び参加者への地域活動参加支援			担当課	社会福祉協議会
目的	名東区在住で還暦を迎えた方々をお祝いし、地域とつながるきっかけをつくる。			区分	継続
取組内容	≪事業実施予定≫実行委員会で検討 ＊開催日 令和8年1月25日(日) ＊開催場所 名東文化小劇場 ＊開催内容 記念講演・演奏、地域の活動紹介 ☆名東区地域福祉活動計画作業部員による「区民還暦交流会」／「名東みらい会」参加勧奨				
計画目標	元気な高齢者が自主的に活動するグループへの新規加入者数 50人			予算額	—
前年度実績	元気な高齢者が自主的に学習・活動するグループへの新規加入者数 52人	前年度決算額	—	目標達成状況	A
前年度計画目標	元気な高齢者が自主的に学習・活動するグループへの新規加入者数 40人				

事業名	「Petitセカンドステージフェス」の開催			担当課	社会福祉協議会
目的	定年の引き上げにより地域活動の担い手発掘と活動を知る機会として、65歳以上の区民を対象に開催する。			区分	新規
取組内容	≪事業実施予定≫名東区地域福祉活動計画作業部会にて検討 ＊開催日 令和7年11月頃 ＊開催場所 名東区在宅サービスセンター ＊開催内容 地域の活動紹介及び参加勧奨、参加者同士の交流				
計画目標	参加者数 50人			予算額	—
前年度実績	—	前年度決算額	—	目標達成状況	—
前年度計画目標	—				

<令和6年度完結事業実績>

将来像2 ひとの輪がひろがる 助けあいのまち

(2) 高齢者が安心して住み慣れた地域で暮らし続けられるよう支援します

事業名	<区長裁量予算> なごやかクラブの活動支援		担当課	福祉課	
実績	アンケートにて「なごやかクラブに興味を持った」と回答した割合87.6%	決算額	160千円	目標達成 状況	A
計画目標	アンケートにて「なごやかクラブに興味を持った」と回答した割合80%以上				

(4) 地域で共に助けあい、尊重し認めあい、共生し、誰もが幸せを実感できるまちづくりを進めます

事業名	ファミリーシップ制度の周知		担当課	市民課	
実績	通年実施	決算額	—	目標達成 状況	A
計画目標	通年実施				

(5) いくつになっても健康で生きがいを持って暮らし、地域で活躍できるよう支援します

事業名	介護予防<フレイル予防>活動の啓発		担当課	保健予防課	
実績	実施回数 7回	決算額	—	目標達成 状況	A
計画目標	実施回数 5回				

※将来像2-(2)では継続実施

令和7年度区政運営方針事業シート

将来像3 地域がつながる 安心・安全なまち

1 施策

- (1)災害に備え「自助」「共助」「公助」の役割を意識し、迅速かつ的確な対応が行える災害に強いまちづくりを進めます
- (2)犯罪や交通事故がなく、安心して安全な地域づくりを進めます

2 ナデシコビジョン2028に掲げる成果指標の進捗状況

施策	指 標	ビジョン 策定時 の値	令和 6年度 実績	目標値 令和 10年度	進捗状況
(1)	家庭内で3日分の備蓄物資が備えられている区民の割合	48.1%	49.1%	80%	☆☆
(2)	刑法犯認知件数	803件	780件	600件	☆☆☆
	交通事故件数(人身事故)	328件	390件	320件	☆

3 ナデシコプランに掲載している事業の目標達成状況

施 策	目標達成状況				
	A	B	C	D	合計
(1)災害に備え「自助」「共助」「公助」の役割を意識し、迅速かつ的確な対応が行える災害に強いまちづくりを進めます	13	1	1	0	15
(2)犯罪や交通事故がなく、安心して安全な地域づくりを進めます	3	0	0	0	3
合 計	16	1	1	0	18

(1)災害に備え「自助」「共助」「公助」の役割を意識し、迅速かつ的確な対応が行える災害に強いまちづくりを進めます

事業名	防災相談会			担当課	総務課
目的	各家庭において7日分の備蓄を進めていただくため、災害に対してどのような備えが必要かを理解していただくとともに、災害時の避難先やハザード等防災上の疑問を解消するため、実施します。			区分	継続
取組内容	各種イベント等でハザードマップや備蓄物資の展示、備蓄物資サンプルの配付などにより、区民の防災への理解を高めるとともに、相談窓口を設けて「災害時にどこへ避難したらよいのか」「どのような備蓄が必要なのか」などの相談を受け付けます。				
計画目標	防災相談会の実施 2回、来場者数 計300人			予算額	—
前年度実績	実施回数 2回	前年度決算額	—	目標達成状況	A
前年度計画目標	実施回数 2回				

事業名	あなたの家庭の防災アシスト事業			担当課	名東消防署 警防地域一(二)課
目的	南海トラフ巨大地震などの大規模災害から命を守るため、各ご家庭の防災対策をアシストし自助・共助力の向上を図ります。			区分	継続
取組内容	年度ごとに対象エリアを設定し、消防職員が各家庭を訪問して面会による啓発活動（各戸啓発）を行います。 地域と啓発内容を調整し作成したリーフレットを活用し、家具の転倒防止をはじめとする家庭の防災対策や、地域の災害リスク・避難経路などを周知し、自助についての意識向上を図ります。 また、近隣住民での助け合いの必要性和自主防災訓練（特に安否確認訓練）への参加を促し、共助についての意識向上を図ります。				
計画目標	・20防災会（自治会・町内会）			予算額	—
前年度実績	45防災会	前年度決算額	—	目標達成状況	A
前年度計画目標	45防災会（自治会・町内会）				

事業名	幼児とパパ・ママ世代の防災あんしん事業			担当課	名東消防署 予防課
目的	絵本やクイズ等を通して、防災と防火について学んでもらうことにより、防災と防火の意識啓発を行う。			区分	継続
取組内容	園児を中心に、防災絵本の読み聞かせやクイズ、防災グッズの作製等を通じて、地震や火災の際に自らの命を守るための知識や行動をわかりやすく説明し、幼少期からの防災に対する意識の啓発を行います。 さらに、パパ・ママに対しては家庭での地震対策や、火災予防のポイント、住宅用火災警報器の設置、点検、取替等についての情報提供を行います。				
計画目標	年間50件			予算額	—
前年度実績	48件	前年度 決算額	—	目標達成 状況	A
前年度計画目標	50件				

事業名	総合水防訓練、総合防災訓練			担当課	総務課
目的	「自助」、「共助」及び「公助」の理念を念頭に置き、市民、防災関係機関、事業者及び市が、防災意識の高揚及び各種防災対策の推進を図るため、実施します。			区分	継続
取組内容	毎年度1中学校区の区民を対象として、区役所・消防署をはじめとする区内防災関係機関が連携し、住民に対して「自助」「共助」の向上に資する訓練を実施します。 水防訓練では、水防工法訓練や水害時の避難に関する講習、避難所運営訓練も実施します。また、防災訓練では、障害者にも訓練に参加していただき、災害時に配慮すべき事項などを相互に確認する機会を提供する取り組みも進めます。				
計画目標	「役立った」と回答する参加者の割合 90%			予算額	—
前年度実績	「役立った」と回答する参加者の割合 91% ※総合水防訓練の結果（総合防災訓練は中止）	前年度 決算額	—	目標達成 状況	A
前年度計画目標	「役立った」と回答する参加者の割合 90%				

事業名	<区長裁量予算> A(あんしん)・A(あんぜん)ひろば			担当課	地域力推進課
目的	名東区は他区と比べても子育て世代が多いことから、行政・事業者等が連携して子どもの安心・安全を確保していくことを目的に、実施します。			区分	継続
取組内容	11月の「名東区安心・安全で快適なまちづくり月間」をより広く周知する啓発事業として、警察署や消防署を始め区役所、事業者等が連携して「子どものあんしん・あんぜんを考える」をテーマに参加型の啓発イベントを実施します。 防災や防犯、交通安全等について、地域、学校の実情や社会情勢等をふまえて、実施内容等を決めます。				
計画目標	来場者アンケート 満足した人の割合 80%以上			予算額	560千円
前年度実績	来場者アンケート 満足した人の割合 98%	前年度 決算額	334千円	目標達成 状況	A
前年度計画目標	来場者アンケート 満足した人の割合 70%以上				

事業名	自主防災訓練			担当課	名東消防署 警防地域一(二)課
目的	自主防災会(自治会・町内会)単位において、災害状況に応じた実践的な自主防災訓練を実施できるよう、消防署と消防団が連携して支援し、地域防災力の向上を図ります。			区分	継続
取組内容	各自主防災会が、地域の特性や状況に合わせた訓練が実施できるよう、区内4署所に学区ごとの担当窓口を設置し、相談受付～訓練実施まで支援します。 特に、大規模地震発生時に自主防災活動方針を決定するために重要となる「安否確認訓練」を中心に、防災診断書、訓練メニュー表及び自主防災訓練貸出資器材を活用し、地域に寄り添った支援を実施します。 (訓練内容の一例) ①安否確認訓練 ②現地本部運営訓練 ③初期消火訓練 ④救出救護訓練 ⑤避難誘導訓練 ⑥防災計画・マップ等の作成				
計画目標	150防災会			予算額	—
前年度実績	131防災会	前年度 決算額	—	目標達成 状況	B
前年度計画目標	140防災会(自治会・町内会)				

事業名	自主防災リーダー講習会			担当課	名東消防署 警防地域一(二)課
目的	自主防災組織のリーダーとなる自主防災会長などに、「自助」「共助」についての知識、災害に対する平常時の備えや災害時の活動についての知識を身につけていただくための講習会を実施し、地域防災力の向上を図ります。			区分	継続
取組内容	新たに自主防災組織のリーダーとなった方に対して、「名古屋市 地域の防災リーダー 初動対応シート」を活用し、災害発生時の初動の流れを理解していただきます。安否確認訓練等の訓練内容の紹介や訓練実施に向けた準備・消防署の支援について説明し、各地域での訓練実施につなげていきます。				
計画目標	新規の自主防災会長のうち希望者全員			予算額	—
前年度実績	103名の自主防災会長を対象に実施	前年度 決算額	—	目標達成 状況	A
前年度計画目標	新規の自主防災会長のうち希望者全員				

事業名	指定避難所運営訓練・リーダー研修の実施			担当課	総務課
目的	(指定避難所運営訓練) 災害時、地域住民主体での避難所運営ができるようにするため、実施します。 (リーダー研修) 指定避難所運営の実践的な知識とスキルを持ったリーダーを各学区ごとに養成するため、実施します。			区分	継続
取組内容	(指定避難所運営訓練) 住民を対象に、避難所の実践的な運営ノウハウや避難生活において必要となる知識や心構えを習得するため、指定避難所運営マニュアルの班編成と役割に基づいた実践的な訓練を実施します。 (リーダー研修) 区政協力委員等の地域のリーダーを対象として、実際に災害が発生した場合に適切かつ迅速に対応できるようにするための研修を実施します。				
計画目標	指定避難所運営訓練の実施 1回 指定避難所運営リーダー研修の実施 1回			予算額	—
前年度実績	指定避難所運営訓練の実施1回 指定避難所運営リーダー研修の実施1回	前年度 決算額	—	目標達成 状況	A
前年度計画目標	指定避難所運営訓練の実施1回 指定避難所運営リーダー研修の実施1回				

事業名	<区長裁量予算> めいとう総合見守り支援事業			担当課	総務課、福祉課ほか関係所属
目的	地域において、日ごろの見守り活動とともに、災害時に共助による迅速な安否確認や避難支援が実際に機能する仕組みをつくるため、実施します。			区分	継続
取組内容	名東区独自の取り組みとして、高齢者等の災害時に支援が必要な方々（要支援者）の中で地域への情報提供に同意された方の名簿を作成し、区政協力委員や民生委員等が、その名簿を基に、要支援者に対して、日ごろからさりげない気づかいにより、安全に生活されているかどうかの見守りを行うほか、災害時には安否確認や避難支援を行います。				
計画目標	避難行動要支援者に配慮した訓練等の実施 19学区			予算額	607千円
前年度実績	避難行動要支援者に配慮した訓練等の実施 15学区	前年度 決算額	535千円	目標達成 状況	C
前年度計画目標	避難行動要支援者に配慮した訓練等の実施 19学区				

事業名	初動対応訓練			担当課	総務課
目的	大規模災害時において区職員が適切な初動対応をとることができるようにするため、実施します。			区分	継続
取組内容	災害発生時を想定した参集情報の記録や応援職員の受け入れ、通信連絡手段の確保、避難所派遣計画の決定や派遣時の準備、区本部の立上げ等について訓練を実施します。				
計画目標	初動対応訓練の実施 2回			予算額	—
前年度実績	初動対応訓練の実施 2回	前年度 決算額	—	目標達成 状況	A
前年度計画目標	初動対応訓練の実施 2回				

事業名	防災調整会議			担当課	総務課
目的	防災関係機関等相互の連携体制を強化することにより、区内の防災対応力の向上を図るため実施します。			区分	継続
取組内容	区の防災に関連するさまざまな関係機関や民間企業などが相互に情報共有し、災害時のお互いの役割などを確認し、連携体制と機能強化を図るために、区防災調整会議を開催します。				
計画目標	防災調整会議の開催 3回			予算額	—
前年度実績	防災調整会議の開催 3回	前年度 決算額	—	目標達成 状況	A
前年度計画目標	防災調整会議の開催 3回				

事業名	住宅用火災警報器の設置・点検の促進			担当課	名東消防署 予防課
目的	様々な機会をとらえ住宅用火災警報器の設置・点検の必要性を呼びかけ、防火意識の向上を目指す。			区分	継続
取組内容	区内で実施される各種イベント、自治会で実施される行事、防災訓練、消防署見学等の機会に、住宅用火災警報器設置の促進と定期的な点検や機器交換の必要性を啓発し、火災による被害の軽減を図っていきます。				
計画目標	年間50件			予算額	—
前年度実績	51件	前年度 決算額	—	目標達成 状況	A
前年度計画目標	50件				

事業名	火災予防・救急車適正利用の普及啓発			担当課	名東消防署 総務課
目的	市民参加型イベントをととして、火災予防や救急車適正利用について、積極的にアピールし普及啓発を行います。			区分	継続
取組内容	「名東の日」に合わせた開催など、年度間に複数回の市民向けイベントを開催しており、消防車両の展示などにより集客力を高めています。また、春・秋の年2回行っている「火災予防運動」の一環として市民向けの街頭キャンペーンを行っています。 これらの市民向けイベントの場において、火災予防への意識啓発や、安易な救急要請による救急車の枯渇について啓発することで、救急要請に遅滞なく対応できる体制の維持を行っています。				
計画目標	イベントの延べ参加人数2,000人			予算額	—
前年度実績	名東の日：参加人数1,500人 その他延べ参加人数：1,200人	前年度 決算額	—	目標達成 状況	A
前年度計画目標	イベントの延べ参加人数2,200人				

事業名	消防団との連携強化の推進			担当課	名東消防署 総務課 警防地域第一(二)課
目的	消防署と消防団が協力して災害に強い地域を作るため、意見交換会や訓練を通じて連携を深め、災害対応力の向上を図ります。また、消防団員を増やすための支援を行います。			区分	継続
取組内容	(消防団との意見交換) 消防団との意見交換会を定期的に開催し、普段から意思疎通を図り、連携を強化します。 (消防団との連携訓練) 大規模地震が発生した際、消防団員と消防隊員が協力して初動対応を迅速に行えるよう定期的に連携訓練を行い、必要な知識や技術を習得します。 (団員の確保に向けた支援) 消防団員を増やすため、各種イベントを活用して消防団の意義や魅力を伝え、消防団員自身による募集活動を支援します。				
計画目標	消防団との意見交換(各団4回/各年度) 消防団との連携訓練(各団4回/各年度) 団員の確保に向けた支援(4回/各年度)			予算額	—
前年度実績	消防隊との意見交換 83 回 消防団との連携訓練 182 回 団員の確保に向けた支援 8 回	前年度 決算額	—	目標達成 状況	A
前年度計画目標	今年度と同じ				

事業名	道路・公園等のパトロール			担当課	名東土木事務所
目的	道路・公園等の適切な管理と危険度の高い場所の応急修繕			区分	継続
取組内容	土木事務所が管理する道路・公園等についてパトロールを行い、異常・危険箇所を早期に発見し、通行規制や応急修繕等の対処をするなど、適切な維持管理を行います。				
計画目標	道路パトロール距離 12,000 km			予算額	—
前年度実績	道路パトロール距離 12,481 km (3月14日現在)	前年度 決算額	—	目標達成 状況	A
前年度計画目標	道路パトロール距離 12,000 km				

事業名	災害時の医療提供体制の調査検討			担当課	健康安全課
目的	区内の災害時における医療機関の業務継続性現況調査			区分	新規
取組内容	災害時の医療提供をより円滑にするため、年に1回程度、区内の医療提供体制の業務継続性の調査を行うもの。				
計画目標	年1回の状況調査および検討			予算額	—
前年度実績	—	前年度 決算額	—	目標達成 状況	—
前年度計画目標	—				

(2)犯罪や交通事故がなく、安心して安全な地域づくりを進めます

再掲

事業名	<区長裁量予算> A(あんしん)・A(あんぜん)ひろば			担当課	地域力推進課
目的	名東区は他区と比べても子育て世代が多いことから、行政・事業者等が連携して子どもの安心・安全を確保していくことを目的に、実施します。			区分	継続
取組内容	11月の「名東区安心・安全で快適なまちづくり月間」をより広く周知する啓発事業として、警察署や消防署を始め区役所、事業者等が連携して「子どものあんしん・あんぜんを考える」をテーマに参加型の啓発イベントを実施します。 防災や防犯、交通安全等について、地域、学校の実情や社会情勢等をふまえて、実施内容等を決定します。				
計画目標	来場者アンケート 満足した人の割合 80%以上			予算額	560千円
前年度実績	来場者アンケート 満足した人の割合 98%	前年度決算額	334千円	目標達成状況	A
前年度計画目標	来場者アンケート 満足した人の割合 70%以上				

事業名	地域の防犯力の向上			担当課	地域力推進課
目的	特殊詐欺や住宅対象侵入盗、車上狙いなどの犯罪による被害を防ぎ、犯罪のない、安心して暮らせるまちづくりを進めるため、実施します。			区分	継続
取組内容	特殊詐欺や住宅対象侵入盗、車上狙いなどの犯罪発生状況を踏まえて防犯区民教室を開催するほか、毎月15日の「名東区防犯の日」に学区各種団体・名東区防犯協会連合会・名東警察署と協働で防犯講話や防犯キャンペーンを実施します。また、新入生への啓発を重点的に行うため、防犯啓発漫画を区内小学校1年生に配布し啓発を行います。				
計画目標	キャンペーン等啓発活動の実施回数 30回			予算額	—
前年度実績	キャンペーン等啓発活動の実施回数 45回	前年度決算額	—	目標達成状況	A
前年度計画目標	キャンペーン等啓発活動の実施回数 30回				

事業名	交通事故のないまちづくりの推進			担当課	地域力推進課
目 的	交通安全運動期間の街頭啓発活動や子ども・高齢者向けの交通安全教育を行うことで、交通事故のない、安心して暮らせるまちづくりを進めるため、実施します。			区 分	継続
取組内容	毎月10日・20日・30日の「交通事故死ゼロの日」や春・夏・秋・年末の「交通安全市民運動」の期間を中心に、警察署の協力のもと地域や事業者の方々と一緒に区内各地で街頭啓発活動や各種キャンペーンなどを実施し、交通事故のないまちづくりを推進します。また、区内の幼稚園・保育園や小学校で子ども向けの交通安全教育を実施するほか、ふれあい給食会などの機会を活用して高齢者向けの交通安全教育を実施します。				
計画目標	キャンペーン等啓発活動の実施回数 60回			予算額	—
前年度実績	キャンペーン等啓発活動の実施回数 81回	前年度決算額	—	目標達成状況	A
前年度計画目標	キャンペーン等啓発活動の実施回数 60回				

令和7年度区政運営方針事業シート

将来像4 次世代につながる 自然豊かな快適な環境のまち

1 施策

- (1)身近な自然に親しめる環境を守り続けます
- (2)快適で美しい生活環境づくりを進めます
- (3)次世代につなぐ環境に配慮した行動を進めます

2 ナデシコビジョン2028に掲げる成果指標の進捗状況

施策	指 標	ビジョン 策定時 の値	令和 6年度 実績	目標値 令和 10年度	進捗状況
(1)	三大緑地（猪高緑地、牧野ヶ池緑地、明徳公園）に親しんだことがある区民の割合	69.3%	71.5%	75%	☆☆☆☆
(2)	ルールやマナーが守られ、快適な暮らしができていると感じている区民の割合	83.8%	82.4%	90%	☆
(3)	環境に配慮した行動を心がけている区民の割合	92.7%	91.8%	95%	☆

3 ナデシコプランに掲載している事業の目標達成状況

施 策	目標達成状況				
	A	B	C	D	合計
(1)身近な自然に親しめる環境を守り続けます	6	0	1	0	7
(2)快適で美しい生活環境づくりを進めます	5	0	1	0	6
(3)次世代につなぐ環境に配慮した行動を進めます	3	0	0	0	3
合 計	14	0	2	0	16

(1)身近な自然に親しめる環境を守り続けます

再掲

事業名	<区長裁量予算> 自然散策会			担当課	地域力推進課
目的	ガイドボランティアと連携し、参加者の皆さまに名東区の豊かな自然にふれていただくため実施します。			区分	継続
取組内容	ガイドボランティアによる案内により、参加者の皆さまに植物や生き物の生態を学んでいただきながら、名東区の緑豊かな自然の魅力をより身近に感じていただく自然散策会を、季節の見どころや時期を考慮して、区内の三大緑地（猪高緑地、明德公園、牧野ケ池緑地）でそれぞれ2回ずつ年間計6回開催します。 各回において季節の見どころをテーマに設定し、ミニゲームや昆虫の観察など、子どもから高齢者まで幅広い年代で楽しめる企画を盛り込みます。また、SDGs(持続可能な開発目標)の普及啓発や三大緑地のパネル展示を行います。				
計画目標	自然散策会(年6回)参加者数 200人			予算額	121千円
前年度実績	自然散策会(年6回)参加者数 202人	前年度 決算額	111千円	目標達成 状況	A
前年度計画目標	自然散策会(年6回)参加者数 200人				

事業名	<区長裁量予算> 名東の日・区民まつり			担当課	地域力推進課
目的	名東ウィーク(5月7日～13日)における地域の各種団体・事業者の参加による区内一円イベントの開催を通じて、区民相互のふれあい・交流を図るとともに区の個性・活力を広く発信するために実施します。			区分	継続
取組内容	(1)名東区民まつり(5月10日(土) 開催場所:牧野ケ池緑地) 地域の力を結集し、ダンスや演奏といったステージイベント、模擬店等の出店、子ども会みこし練り歩き等を実施します。区内三大緑地のうち最大面積を誇る牧野ケ池緑地を会場とし、多くの区民が自然に親しむ機会を設けます。 (2)区内一円イベント 事業者による協賛セールや、地域で活躍する団体による趣向を凝らしたイベントを実施します。 ・セールやメニュー ・各種の参加型イベント ・事業者等から提供いただいた賞品が当たるスタンプラリー 等				
計画目標	「名東区民まつり」の来場者から「楽しかった」と回答いただいた割合95%以上			予算額	5,092千円
前年度実績	「名東区民まつり」の来場者から「楽しかった」と回答いただいた割合97%	前年度 決算額	4,645千円	目標達成 状況	A
前年度計画目標	「名東区民まつり」の来場者から「楽しかった」と回答いただいた割合95%以上				

事業名	<区長裁量予算> なでしこKADAN			担当課	名東土木事務所
目的	名東区内では「東山グリーンウェイ事業」を始めとして、花を使ったまちづくり活動が活発です。ナデシコを植えて育てる活動を通じ、区の花「ナデシコ」のPRと地域コミュニティの活性化を図ります。			区分	継続
取組内容	コミュニティセンターや公園の花壇、プランターを利用し、意欲のある区民や市民活動団体等に名東区の花「ナデシコ」を植えて育ててもらい、花や緑の連続した、華やかさや潤いのある区の景観をつくれます。また、花を植え育てる活動への参加を通して地域コミュニティの活性化を図り、名東区の特徴を出した統一感のある美しい街並みづくりを推進します。				
計画目標	「なでしこKADAN」の設置数 45か所			予算額	382千円
前年度実績	「なでしこKADAN」の設置数 50か所	前年度決算額	382千円	目標達成状況	A
前年度計画目標	「なでしこKADAN」の設置数 45か所				

事業名	猪高緑地の森づくり			担当課	名東土木事務所
目的	市民活動団体と土木事務所が協働して、計画的な森づくりを進めます。また、一般市民を対象としたイベントを内容にふさわしい時期を選んで開催し、市民との交流推進と猪高緑地の魅力発信を図ります。			区分	継続
取組内容	緑のパートナーである「名東自然倶楽部」との協働で、通年の樹林地管理、春から秋にかけての棚田運営管理等を行うとともに、市民参加を募り、竹林管理体験会や自然体験会等のイベントを開催します。 4月 竹林管理体験会 7月 自然体験会 11月 竹刈り体験会				
計画目標	竹林管理体験会等の応募者数 延べ180人			予算額	—
前年度実績	応募者 延べ 138人	前年度決算額	—	目標達成状況	C
前年度計画目標	応募者 延べ 180人				

(2)快適で美しい生活環境づくりを進めます

事業名	路上禁煙の推進			担当課	環境事業所
目的	路上禁煙対策を通して、市民・事業所との協働により、安心、安全で快適に暮らせるまちを実現するため、実施します。			区分	継続
取組内容	●専任の路上禁煙等指導員によるパトロールを実施します。 ●藤が丘周辺の路上禁煙地区で、区民と協働して啓発活動を行います。 ●区内のイベントやキャンペーンにおいて広報に努めます。				
計画目標	路上禁煙地区における啓発活動の実施回数 3回			予算額	—
前年度実績	路上禁煙地区における啓発活動の実施回数 3回	前年度決算額	—	目標達成状況	A
前年度計画目標	路上禁煙地区における啓発活動の実施回数 3回				

事業名	清掃活動団体の活動支援			担当課	地域力推進課、土木事務所
目的	地域住民が道路・公園等で行う清掃活動や、香流川や植田川の清掃を行っている清掃活動団体を支援することで、区民が住みやすい快適な生活環境づくりを進めるため、実施します。			区分	継続
取組内容	全市一斉に行われる「クリーンキャンペーン・なごや」に合わせて、区内全域で道路や公園の清掃活動を区民の皆さまと実施します。 また、清掃活動団体が主催して、学区の住民や事業者等が参加して実施される清掃活動を支援します。併せて、清掃活動団体間の交流を支援するため、交流会を実施します。				
計画目標	清掃活動支援2回、交流活動支援1回			予算額	—
前年度実績	清掃活動支援1回、交流活動支援1回	前年度決算額	—	目標達成状況	C
前年度計画目標	清掃活動支援2回、交流活動支援1回				

事業名	空地・空家の適切な管理の推進			担当課	地域力推進課、 環境業務課、環境事業所、 土木事務所、消防署
目的	空地の除草や空家の適切な管理を所有者に促すことで、ゴミの不法投棄や害虫の発生、保安上の危険性を取り除き、快適な住環境を維持するため、実施します。			区分	継続
取組内容	雑草が繁茂したまま放置されている空地や保安上危険であったり、衛生上有害な空家について、所有者に対して適正な管理をしていただくよう依頼、指導します。 また、空家等に関する対策会議等を定期的に開催して、関係部署間の連絡調整及び連携協力を図ります。				
計画目標	空地の除草・清掃依頼後の実施率 70%			予算額	—
前年度実績	空地の除草・清掃依頼後の実施率 85%	前年度 決算額	—	目標達成 状況	A
前年度計画目標	空地の除草・清掃依頼後の実施率 70%				

事業名	放置自転車の追放			担当課	地域力推進課、 土木事務所
目的	駅やバスターミナル周辺の放置自転車をなくすことで、歩道等の通行を確保するとともに、美しい景観を維持するために、実施します。			区分	継続
取組内容	地域の方や関係団体と協力して、藤が丘、本郷、上社、一社、猪子石原、引山地区において、「放置自転車追放キャンペーン」を実施し、歩道等の通行の確保や美しい景観を維持していきます。 また、広報なごやの掲載等の啓発活動を行います。				
計画目標	キャンペーン・啓発活動の実施回数 15回			予算額	—
前年度実績	キャンペーン・啓発活動の実施回数 19回	前年度 決算額	—	目標達成 状況	A
前年度計画目標	キャンペーン・啓発活動の実施回数 15回				

事業名	<区長裁量予算> おさんぽマイスター宣言			担当課	健康安全課
目的	ペットによる迷惑防止対策及び飼主等に対する啓発活動の一環として、飼主自らがマナーを遵守し他の模範となることを目指します。			区分	継続
取組内容	飼主に宣言書（愛犬を必ず引き綱でつなぎ制御すること。散歩中に排せつさせないしつけをし、散歩中にしてしまった場合はフンの持ち帰りを行うこと等）を記載してもらい、おさんぽマイスターとして活動してもらうことで、個人のマナー意識に働きかけます。				
計画目標	宣言書70枚			予算額	188千円
前年度実績	宣言書104枚	前年度 決算額	168千円	目標達成 状況	A
前年度計画目標	宣言書70枚				

事業名	<区長裁量予算> マナーつながる黄色い輪活動			担当課	健康安全課
目的	ペットによる迷惑防止対策及び飼主等に対する啓発活動の一環として、放置されたフンにイエローチョークで丸を付けることにより飼主のマナー意識に働きかけ、ペットと共生する快適なまちづくりの実現を目指します。			区分	継続
取組内容	犬のフン害でお困りの方に、保健センターでイエローチョーク作戦の実施方法を紹介し、チョーク及び腕章をお渡しします。また、ご希望の方には、看板及びステッカーをお配りします。それによって常習的にフンを放置する飼主の意識に働きかけ、マナーの向上を訴えます。				
計画目標	活動実施者によるアンケートで、まちをきれいにする風潮を作り、住民の自主的な活動を推進することに「効果がある」・「ほぼ効果がある」と思う割合が80%以上を目指します。			予算額	159千円
前年度実績	活動実施者によるアンケートで、まちをきれいにする風潮を作り、住民の自主的な活動を推進することに「効果がある」・「ほぼ効果がある」と思う割合が80%	前年度 決算額	134千円	目標達成 状況	A
前年度計画目標	活動実施者によるアンケートで、まちをきれいにする風潮を作り、住民の自主的な活動を推進することに「効果がある」・「ほぼ効果がある」と思う割合が80%以上を目指します。				

(3)次世代につなぐ環境に配慮した行動を進めます

事業名	<区長裁量予算> エコフェスタ名東			担当課	公害対策課
目的	次世代を担う子どもたちの環境に対する意識を高め、環境問題を考えてもらうことを目的にイベントを実施します。			区分	継続
取組内容	・楽しみながら環境問題を考えるイベント「エコフェスタ名東2025」を名東区で活動する環境団体等と共に実施します。				
計画目標	参加者数 500名			予算額	260千円
前年度実績	参加者数 500名	前年度 決算額	194千円	目標達成 状況	A
前年度計画目標	参加者数 500名				

事業名	<区長裁量予算> めいとう×サステナブルアクション			担当課	公害対策課
目的	幅広い世代を対象として、SDGsや環境問題への理解を深めるとともに、自分たちに何ができるかを楽しみながら学び、環境に配慮した行動の実践につながるようなイベントを実施します。			区分	継続
取組内容	名東区にある3大緑地をはじめとした豊かな自然環境の場で、生き物がどのような場にどのように生息しているかを知っていただくため、楽しみながら自然環境を身近に感じ、より興味や関心を持つことができるよう、モバイル端末を活用し、いきもの図鑑にスタンプラリー要素を組み合わせたイベントを実施します。				
計画目標	イベント参加者数 500名			予算額	3,990千円
前年度実績	イベント参加者数 600名	前年度 決算額	3,198千円	目標達成 状況	A
前年度計画目標	イベント参加者数 500名				

事業名	ごみ減量の推進			担当課	環境事業所
目的	ごみ・資源の分別や3Rに関心を持ってもらい、分別意識の向上、分別の徹底、3Rの取組みにつなげ、さらなるごみ減量を推進するもの。			区分	継続
取組内容	●小学校などを対象に出前講座を行い、分別意識の定着を進めます。 ●事業者を対象に、事業系ごみの適正排出にかかる指導を行います。 ●年度替わりの3月から4月に区役所内にごみ案内所を開設します。 ●年度末から年度初めを中心に、名東区、近隣市にある大学、専門学校にごみ・資源の分別に関するパンフレット等を配架し、分別方法の周知・啓発を行います。				
計画目標	小学校などでの出前講座の実施回数 5回 事業系ごみの排出指導件数 20件			予算額	—
前年度実績	小学校などでの出前講座の実施回数 6回 事業系ごみの排出指導件数 24件	前年度 決算額	—	目標達成 状況	A
前年度計画目標	小学校などでの出前講座の実施回数 5回 事業系ごみの排出指導件数 20件				

<令和6年度完結事業実績>

将来像4 次世代につながる 自然豊かな快適な環境のまち

(1)身近な自然に親しめる環境を守り続けます

事業名	<区長裁量予算> 名東区の自然の魅力を発掘・発信する事業 (R6年度:自然散策特別企画)		担当課	地域力推進課	
実績	特別ブースの来訪者 437人	決算額	20千円	目標達成 状況	A
計画目標	特別ブースの来訪者 300人				

事業名	<区長裁量予算> エコフェスタ名東		担当課	公害対策課	
実績	参加者数 500名	決算額	194千円	目標達成 状況	A
計画目標	参加者数 500名				

※将来像4-(3)では継続実施

事業名	<区長裁量予算> めいとう×サステナブルアクション		担当課	公害対策課	
実績	イベント参加者数 600名	決算額	3,198千円	目標達成 状況	A
計画目標	イベント参加者数 500名				

※将来像4-(3)では継続実施

令和7年度区政運営方針事業シート

将来像5 笑顔がひろがる 魅力と交流のまち

1 施策

- (1) まちの魅力資源を発掘・活用・発信し、にぎわいと交流のあるまちづくりを進めます
- (2) 生涯を通してスポーツや文化・芸術活動に親しむまちづくりを進めます
- (3) 区民が主体となり、多様な協働・連携を進めるまちづくりに取り組みます

2 ナデシコビジョン2028に掲げる成果指標の進捗状況

施策	指 標	ビジョン 策定時 の値	令和 6年度 実績	目標値 令和 10年度	進捗状況
(1)	まちに魅力を感じ、住み続けたいと思う区民の割合	94.5%	95%	97%	☆☆☆☆
(2)	スポーツや文化芸術活動が盛んであると思う区民の割合	51.3%	54.9%	60%	☆☆☆☆
(3)	地域活動に参加したことがある区民の割合	29.2%	32.6%	50%	☆☆☆

3 ナデシコプランに掲載している事業の目標達成状況

施 策	目標達成状況				
	A	B	C	D	合計
(1) まちの魅力資源を発掘・活用・発信し、にぎわいと交流のあるまちづくりを進めます	6	0	0	2	8
(2) 生涯を通してスポーツや文化・芸術活動に親しむまちづくりを進めます	2	1	0	0	3
(3) 区民が主体となり、多様な協働・連携を進めるまちづくりに取り組みます	3	0	0	0	3
合 計	11	1	0	2	14

(1)まちの魅力資源を発掘・活用・発信し、にぎわいと交流のあるまちづくりを進めます

事業名	区の花「ナデシコ」のPR推進			担当課	地域力推進課
目的	区の花「ナデシコ」の認知度を高め、区への愛着を持っていただけるよう、地域力推進課・土木事務所・社会福祉協議会で連携して区の花「ナデシコ」のPRを推進するために実施します。			区分	継続
取組内容	公園や歩道等の花壇やプランターを利用し、意欲のある区民や市民活動団体等に名東区の花「ナデシコ」を植えて育ててもらい、ナデシコに愛着を持っていただくとともに、華やかさやうまいのある区の景観をつくり、また花を植え育てる活動への参加を通して地域コミュニティの活性化を図り、名東区の特徴を出した統一感のある美しい街並みづくりを推進している「なでしこKADAN」に参加するなど、ナデシコのPRにつなげます。				
計画目標	区役所へナデシコのプランターを設置 SNS等を活用し、ナデシコに関連する情報発信を行う			予算額	—
前年度実績	「なでしこKADAN」の設置数 50か所（再掲） 花づくり活動支援地区・団体数 4学区・団体	前年度 決算額	—	目標達成 状況	A
前年度計画目標	「なでしこKADAN」の設置数 45か所（再掲） 花づくり活動支援地区・団体数 5学区・団体				

事業名	メイトウ情報チャンネル			担当課	地域力推進課
目的	広報なごやや啓発チラシの紙面だけでは伝えきれない情報を動画を交えて紹介することで、より多くの情報を区民に伝えるため実施します。			区分	継続
取組内容	広報なごやや啓発チラシだけでは伝えにくい情報を動画を使って広報します。制作した動画は、区公式YouTubeチャンネルの「メイトウ情報チャンネル」で放映するほか、二次元コードを広報なごやに掲載して相乗効果を図ります。				
計画目標	新規動画 5本			予算額	—
前年度実績	放映動画本数 8本	前年度 決算額	—	目標達成 状況	A
前年度計画目標	放映動画本数 5本				

事業名	<区長裁量予算> 名東魅力発信事業（＃めいとうぐらむ）			担当課	企画経理課
目的	名東区の魅力をInstagramを活用し広く発信することで、「名東区に訪れたい・住みたい」といった方を増やすとともに、区民の地域への愛着を醸成する機運を高めます。			区分	継続
取組内容	【オリジナルハッシュタグ「＃めいとうぐらむ」の利用促進】 名東区の魅力を発信するための「＃めいとうぐらむ」の認知度向上及び「＃めいとうぐらむ」を付けて投稿したくなるような仕組みづくりについて検討・実践し、利用者数（＝「＃めいとうぐらむ」を付けた投稿数）の増加を目指します。 【区公式アカウント「510meitogram」の効果的な運営】 市外・区外・区内に向けて、名東区の魅力を効果的に伝達できるよう、投稿記事の選定や内容作成について検討し、魅力的な記事の発信に繋げることで、フォロワー数（＝名東区のファン）の増加を目指します。				
計画目標	・「＃めいとうぐらむ」を付けた投稿数 300件（年間）			予算額	10千円
前年度実績	・「＃めいとうぐらむ」を付けた投稿数 300件 ・区公式アカウント「510meitogram」のフォロワー数 495人	前年度決算額	—	目標達成状況	D
前年度計画目標	・「＃めいとうぐらむ」を付けた投稿数 1,000件（年間） ・区公式アカウント「510meitogram」のフォロワー数 1,000人（累計）				

再掲

事業名	<区長裁量予算> 自然散策会			担当課	地域力推進課
目的	ガイドボランティアと連携し、参加者の皆さまに名東区の豊かな自然にふれていただくため実施します。			区分	継続
取組内容	ガイドボランティアによる案内により、参加者の皆さまに植物や生き物の生態を学んでいただきながら、名東区の緑豊かな自然の魅力をより身近に感じていただく自然散策会を、季節の見どころや時期を考慮して、区内の三大緑地（猪高緑地、明德公園、牧野ヶ池緑地）でそれぞれ2回ずつ年間計6回開催します。 各回において季節の見どころをテーマに設定し、ミニゲームや昆虫の観察など、子どもから高齢者まで幅広い年代で楽しめる企画を盛り込みます。また、SDGs(持続可能な開発目標)の普及啓発や三大緑地のパネル展示を行います。				
計画目標	自然散策会(年6回)参加者数 200人			予算額	121千円
前年度実績	自然散策会(年6回)参加者数 202人	前年度決算額	111千円	目標達成状況	A
前年度計画目標	自然散策会(年6回)参加者数 200人				

再掲

事業名	<区長裁量予算> 名東の日・区民まつり			担当課	地域力推進課
目 的	名東ウィーク(5月7日～13日)における地域の各種団体・事業者の参加による区内一円イベントの開催を通じて、区民相互のふれあい・交流を図るとともに区の個性・活力を広く発信するために実施します。			区 分	継続
取組内容	(1)名東区民まつり(5月10日(土) 開催場所:牧野ヶ池緑地) 地域の力を結集し、ダンスや演奏といったステージイベント、模擬店等の出店、子ども会みこし練り歩き等を実施します。区内三大緑地のうち最大面積を誇る牧野ヶ池緑地を会場とし、多くの区民が自然に親しむ機会を設けます。 (2)区内一円イベント 事業者による協賛セールや、地域で活躍する団体による趣向を凝らしたイベントを実施します。 ・セールやメニュー ・各種の参加型イベント ・事業者等から提供いただいた賞品が当たるスタンプラリー 等				
計画目標	「名東区民まつり」の来場者から「楽しかった」と回答いただいた割合95%以上			予算額	5,092千円
前年度実績	「名東区民まつり」の来場者から「楽しかった」と回答いただいた割合97%			前年度決算額	4,645千円
前年度計画目標	「名東区民まつり」の来場者から「楽しかった」と回答いただいた割合95%以上				

事業名	区まちづくり基金			担当課	企画経理課	
目 的	区民や区にゆかりのある方の、区のまちづくりへの想いを生かし、まちづくりを進めるため、寄附金を募集し、基金として積み立て、各種事業の財源とします。			区 分	継続	
取組内容	区民会議等の機会を捉え、区まちづくり基金について広報し、寄附金を募集します。					
計画目標	寄附金額200,000円				予算額	—
前年度実績	寄付金額236,000円	前年度決算額	—	目標達成状況	A	
前年度計画目標	寄附金額200,000円					

(2)生涯を通してスポーツや文化・芸術活動に親しむまちづくりを進めます

再掲

事業名	各種スポーツ大会の開催			担当課	地域力推進課
目的	地域スポーツ団体と協力し、多種多彩なスポーツ大会等を開催することで、スポーツに興味を持ち、日常的にスポーツに親しむ区民の裾野を広げ、「つながり」の創出を図る事業を実施します。			区分	継続
取組内容	地域スポーツ団体及び各競技団体と協力し、ソフトボール、レクバレー、レクインディアカ、グラウンド・ゴルフを始めとする多種多彩なスポーツ大会を開催するほか、千種区と合同で行う大規模スポーツイベントである「家族ジョギング・ウォーキング大会」やユニバーサルスポーツを体験できる事業などを開催します。また、令和5年から新たに開催しているモルック大会を継続して開催していきます。				
計画目標	モルック大会出場者数 228人(4人×3部門×19学区)			予算額	—
前年度実績	204人	前年度 決算額	—	目標達成 状況	B
前年度計画目標	228人				

事業名	<区長裁量予算> めい冬音楽祭			担当課	地域力推進課
目的	文化・芸術活動に親しみ交流できる機会を充実させることで、区の持つ文化的な魅力の認知度を上げ、文化・芸術活動の発展につなげるため実施します。			区分	新規
取組内容	名東区制50周年記念事業めい冬フェスティバルで開催されたユース音楽祭を引き継ぐ企画として、区内で吹奏楽部の活動が盛んな学校の協力を得て音楽祭を実施します。幅広い世代の区民に、文化・芸術活動を知っていただく機会とするとともに、「音楽祭」を冬の風物詩とし、学生の活動の発表の場とすることで、活動の充実や発展につなげていきます。				
計画目標	めい冬音楽祭の来場者から「良かった」と回答いただいた割合80%以上			予算額	2,316千円
前年度実績	—	前年度 決算額	—	目標達成 状況	—
前年度計画目標	—				

再掲

事業名	文化芸術活動の振興			担当課	地域力推進課
目的	文化芸術団体の協力を得ながら、幅広い世代の区民が気軽に文化・芸術を楽しむことのできる環境をつくるとともに、文化芸術活動の振興を図る事業を実施します。			区分	継続
取組内容	各文化芸術団体と協力して、区民美術展やいけばな展といった区民の作品の展示事業を実施するとともに、総合芸術・芸能祭やコーラス交歓会といった舞台芸術の発表事業を実施し、文化・芸術活動を行う区民の活動を支援します。また、加えて未就学児も参加可能な「わがまち名東」フェスティバルファミリーコンサートを開催するなど、幼児から高齢者まで幅広い世代の区民が気軽に文化芸術を楽しむことができる事業を展開します。また、小中学生を対象として令和5年度から新たに開催しているジュニア美術展を継続して開催します。				
計画目標	区民美術展出品数 150点 ジュニア美術展出品数 30点			予算額	—
前年度実績	区民美術展出品数156点 ジュニア美術展出品数 46点	前年度 決算額	—	目標達成 状況	A
前年度計画目標	区民美術展出品数150点 ジュニア美術展出品数 30点				

(3)区民が主体となり、多様な協働・連携を進めるまちづくりに取り組みます

事業名	地域コミュニティ活性化の支援			担当課	地域力推進課
目的	地域コミュニティを活性化するために、地域で効果を上げている活動やコミュニティづくりについて共有、情報交換できる場を提供します。			区分	継続
取組内容	各学区が参加する交流会を開催し、地域で取り組み効果をあげている活動やコミュニティづくりについて、情報交換を行います。 また、令和5年10月より配置された「地域コミュニティ活性化相談員」を中心に、地域の声を聴き、ICTの支援や地域活動の活性化等の地域を支援する取組みを進めます。				
計画目標	交流会等の開催 3回			予算額	—
前年度実績	つながる・ひろがる交流会 2回、コミュニティ交流会 1回	前年度決算額	—	目標達成状況	A
前年度計画目標	交流会等の開催 3回				

再掲

事業名	「60歳の門出を祝う会～還暦式～」の開催及び参加者への地域活動参加支援			担当課	社会福祉協議会
目的	名東区在住で還暦を迎えた方々をお祝いし、地域とつながるきっかけをつくる。			区分	継続
取組内容	《事業実施予定》実行委員会で検討 ＊開催日 令和8年1月25日(日) ＊開催場所 名東文化小劇場 ＊開催内容 記念講演・演奏、地域の活動紹介 ☆名東区地域福祉活動計画作業部員による「区民還暦交流会」／「名東みらい会」参加勧奨				
計画目標	元気な高齢者が自主的に活動するグループへの新規加入者数 50人			予算額	—
前年度実績	元気な高齢者が自主的に学習・活動するグループへの新規加入者数 52人	前年度決算額	—	目標達成状況	A
前年度計画目標	元気な高齢者が自主的に学習・活動するグループへの新規加入者数 40人				

事業名	<区長裁量予算> 学区情報の発信によるコミュニティづくりの推進			担当課	地域力推進課
目的	転入者をはじめ新たな人材が、区や学区に親しみを感じ、地域活動に関わっていただくことを目的とします。			区分	新規
取組内容	学区の「特色」や「地域活動」などをまとめた学区紹介チラシを作成します。 転入者をはじめとする新たな人材に、区や学区への親しみを感じてもらい、地域活動に関わっていただくことを目的に、学区紹介チラシを活用し、積極的に学区情報を発信します。				
計画目標	学区紹介チラシの作成(全19学区)			予算額	1,211千円
前年度実績	—	前年度 決算額	—	目標達成 状況	—
前年度計画目標	—				

事業名	パートナーシップ協定			担当課	企画経理課
目的	地元事業者や学校等と地域課題に取り組むパートナーシップ協定(連携協定)を結ぶことで、地域課題の解決を図ってまいります。			区分	継続
取組内容	・協定先の地元事業者等と定期的な協議の場を持ち、地域課題等を共有の上、協働・連携しながら、取組みを進めます。 ・市公式ウェブサイトの名東区ページに掲載した協定先との活動内容や実績を更新し、最新の情報を発信することで、新規の協定締結者を募集します。				
計画目標	通年実施			予算額	—
前年度実績	通年実施	前年度 決算額	—	目標達成 状況	A
前年度計画目標	通年実施				

<令和6年度完結事業実績>

将来像5 笑顔がひろがる 魅力と交流のまち

(1) まちの魅力資源を発掘・活用・発信し、にぎわいと交流のあるまちづくりを進めます

事業名	<区長裁量予算> 区制50周年記念動画の放映		担当課	企画経理課	
実績	動画配信に係るSNS投稿に対する「いいね!」総数 145件	決算額	2,339千円	目標達成状況	D
計画目標	動画配信に係るSNS投稿に対する「いいね!」総数 1,000件				

事業名	<区長裁量予算> 名東区の自然の魅力を発掘・発信する事業 (R6年度: 自然散策特別企画)		担当課	地域力推進課	
実績	特別ブースの来訪者 437人	決算額	20千円	目標達成状況	A
計画目標	特別ブースの来訪者 300人				

(2) 生涯を通してスポーツや文化・芸術活動に親しむまちづくりを進めます

事業名	<区長裁量予算> みんなでやろう!ユニバーサルスポーツ		担当課	地域力推進課	
実績	ユニバーサルスポーツ体験 参加者1,155名	決算額	2,063千円 ※名東ユース音楽祭と共通	目標達成状況	A
計画目標	ユニバーサルスポーツ体験 参加者500名				

令和7年度区政運営方針事業シート

区役所づくり 親しまれ信頼される 区役所をめざして

1 施策

- (1)DXの推進等により区民の皆さまに満足いただけるサービスを提供します
- (2)区民の皆さまの声を区政に反映します
- (3)区民の皆さまにわかりやすく、必要な情報を提供します

2 ナデシコビジョン2028に掲げる成果指標の進捗状況

施策	指 標	ビジョン 策定時 の値	令和 6年度 実績	目標値 令和 10年度	進捗状況
(1)	区役所窓口における対応に満足している区民の割合	95.4%	96.6%	100%	☆☆☆☆
(2)	「区民アンケート」の回収率	33.6%	36.1%	50%	☆☆☆
(3)	区政に関して知りたい情報が十分に得られていると思う区民の割合	45.3%	49.8%	65%	☆☆☆☆

3 ナデシコプランに掲載している事業の目標達成状況

施 策	目標達成状況				
	A	B	C	D	合計
(1) DXの推進等により区民の皆さまに満足いただけるサービスを提供します	2	0	0	0	2
(2)区民の皆さまの声を区政に反映します	3	0	1	1	5
(3)区民の皆さまにわかりやすく、必要な情報を提供します	0	1	0	0	1
合 計	5	1	1	1	8

(1)DXの推進等により区民の皆さまに満足いただけるサービスを提供します

事業名	<区長裁量予算> 接遇研修			担当課	総務課
目的	区民の皆様に区役所が提供する区民サービスを、より満足していただくため、実施します。			区分	継続
取組内容	区役所全課を対象とし、基礎的な接遇力を高めることを目的とする外部講師による「全体研修」とこの全体研修参加者を講師とする「各課での職場内研修」を実施し、職員の意識と能力の向上を図ります。そのほか「各課のニーズに合わせた課単位の接遇研修」もあわせて実施します。 「迅速・丁寧な対応」、多種多様なニーズにあった「的確なサービスの提供」、高齢者・障害者・子ども連れの方など「配慮が必要な方に対しての適切な対応」によりお客様満足度を高めるとともに、窓口での誤交付防止対策など「個人情報保護」を徹底します。 また、来庁者の「生の声」を今後の接遇改善に活用するため、「お客様窓口アンケート」を実施します。				
計画目標	お客様窓口アンケート「とても満足」「満足」97%以上 (うち「とても満足」45%以上)			予算額	200千円
前年度実績	お客様窓口アンケート「とても満足」「満足」97% (うち「とても満足」61%)	前年度決算額	100千円	目標達成状況	A
前年度計画目標	窓口対応の満足度 100%				

事業名	ICTを活用した窓口サービス等の提供			担当課	区役所内関係所属
目的	「待たない・書かない・分かりやすい」をコンセプトにしたスマート窓口や行かない窓口を目指し、区役所の手続について、電子(オンライン)での申請等を推進し、区民サービスや利便性の向上を図ります。			区分	継続
取組内容	区民サービスや利便性の向上のため、マイナンバーカードの交付予約、市民課・保険年金課窓口の混雑状況の発信、転出届のオンライン申請、保育所等のオンライン利用申込み、身近な人が亡くなった後に区役所等で必要となる手続を案内するおくやみコーナーなどを実施します。				
計画目標	通年実施			予算額	—
前年度実績	通年実施	前年度決算額	—	目標達成状況	A
前年度計画目標	通年実施				

(2) 区民の皆さまの声を区政に反映します

事業名	区民会議			担当課	企画経理課
目的	区政運営に反映させるため、区民の皆さまから区政に対するご意見を聴取するとともに、区政への参画の場を提供するため実施します。			区分	継続
取組内容	区将来ビジョン、区政運営方針、区の特性に応じたまちづくり事業、まちづくり基金等について、区民の皆様からご意見を聴取するとともに、区政への参画の場を提供するため区民会議を実施します。 【区民会議開催予定日】 ・第1回 令和7年6月4日 ・第2回 令和8年3月4日				
計画目標	開催回数 2回			予算額	—
前年度実績	開催回数 2回	前年度決算額	—	目標達成状況	A
前年度計画目標	開催回数 2回				

事業名	<区長裁量予算> 区民ミーティング			担当課	企画経理課
目的	区民が主体のまちづくりを推進するため、地域が抱える様々な課題等について、区民や地域、行政等と一緒に話し合い解決策を検討するため実施します。			区分	継続
取組内容	公募区民や地域、学生、企業、行政等、区に関わりのある様々な立場の方が、地域が抱える様々な課題等について、一緒に話し合い解決策を検討する場として、ワークショップ形式の区民ミーティングをします。				
計画目標	参加者満足度95%			予算額	334千円
前年度実績	参加者満足度95%	前年度決算額	329千円	目標達成状況	A
前年度計画目標	参加者満足度90%				

事業名	<区長裁量予算> 区民アンケート			担当課	企画経理課
目的	第2期名東区将来ビジョンに掲げる将来像ごとの成果指標の現状値を調査するとともに、区政に関する区民の意識を調査し、今後の区政運営のための基礎資料とします。			区分	継続
取組内容	【区民アンケートの概要】 (1) 調査地域 名東区全域 (2) 調査期間 令和7年8月頃 (3) 調査対象 区内在住の18歳以上の男女（外国人含む。） (4) 標本数 2,000人 (5) 抽出方法 住民基本台帳から無作為抽出 (6) 調査方法 区役所から配付後、郵送又はインターネットにより回収				
計画目標	回収率40%			予算額	978千円
前年度実績	回収率36.2%	前年度 決算額	287千円	目標達成 状況	C
前年度計画目標	回収率50%				

事業名	ナデシコBOX			担当課	企画経理課
目的	区民サービスの向上を図るため、区役所内にご意見箱（ナデシコBOX）を設置し、来庁者から区政に対するご意見やご提案を伺います。			区分	継続
取組内容	区役所内3ヶ所（総合庁舎1階・南1階、東庁舎）に、ご意見箱（ナデシコBOX）を設置し、来庁者から区政に対するご意見やご提案を伺うとともに、いただいたご意見やご提案に対する区の考え方や対応状況を掲示板に掲示することで、業務改善による区民サービスの向上を図りながら、区民の皆さまに区政に関心を持っていただく契機としていきます。				
計画目標	通年実施			予算額	—
前年度実績	通年実施	前年度 決算額	—	目標達成 状況	A
前年度計画目標	通年実施				

(3)区民の皆さまにわかりやすく、必要な情報を提供します

事業名	情報発信・広報			担当課	地域力推進課
目的	広報なごや、区ウェブサイトやSNS等各種広報媒体の活用を通じて、区の情報発信力の向上のため実施します			区分	継続
取組内容	広報なごや区版・区ウェブサイトにおける、より分かりやすい紙面・ページ作成に加え、区公式X(旧:Twitter)等各種SNS、地下鉄駅区役所情報掲示板、地域情報誌等様々な広報媒体の特性をいかした広報を進めます。また、幅広い世代に向けて、区公式X(旧:Twitter)を利用した情報発信を広げます。				
計画目標	区ウェブサイトへのアクセス件数 月平均70,000件、 区公式X(旧:Twitter)年間記事数 200件			予算額	—
前年度実績	区ウェブサイトへのアクセス件数 月平均 58,989件、 区公式X(旧:Twitter)年間記事数 247件	前年度 決算額	—	目標達成 状況	B
前年度計画目標	区ウェブサイトへのアクセス件数 月平均 70,000件、 区公式X(旧:Twitter)年間記事数 200件				

<令和6年度完結事業実績>

区役所づくり 親しまれ信頼される 区役所をめざして

(2) 区民の皆さまの声を区政に反映します

事業名	なでしこアンケート		担当課	企画経理課	
実績	一時中止	決算額	—	目標達成 状況	D
計画目標	区内全8中学校				